

消防年報

平成 26 年版

蓮田市消防本部

(平成 27 年刊行)

はじめに

平素から消防防災体制の充実・強化につきましては、深いご理解と多大なるご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、近年の消防・防災行政を取り巻く環境は、頻発する各種災害及び災害態様の複雑多様化、厳しい財政状況、高齢化に伴う要援護者の増加など予想を上回る速さで進展しており、このような状況にあって安全で安心な市民生活の確保と的確な消防行政サービス等、市民からの防災に対する期待・関心がますます増大しているところでございます。

この年報は、蓮田市消防本部の現勢と消防諸般の基本的な統計を収録し、今後の参考に資するとともに消防事情を広く一般に紹介するため編集したものです。

この統計により、蓮田市消防本部について一層のご理解を深められ防災体制確立に特段のご協力をお願い申し上げます。

平成27年7月

蓮田市消防本部

市勢のあらまし

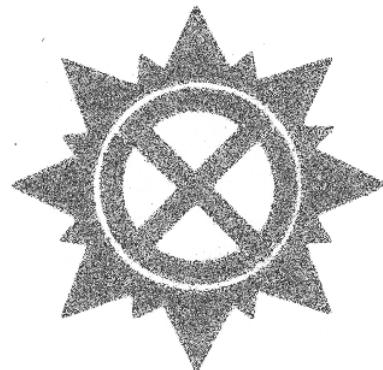
蓮田市は埼玉県の東部に位置し、面積は 27. 28 km²、地形は南北に長く、北東部を流れる元荒川を境に久喜市及び白岡市に、西部は綾瀬川を境に桶川市・伊奈町及び上尾市に、南東部はさいたま市にそれぞれ隣接し、綾瀬川とほぼ平行に利根川を水源とする見沼代用水が流れています。

J R 宇都宮線（東北本線）を利用すれば、都心まで 40 km 圏内、約 40 分で行くことができます。また主要な幹線道路として国道 122 号や県道さいたま栗橋線及び蓮田スマートインター チェンジなどがあり、さいたま市や首都圏への利便性もよく、都心のベットタウンとして住みやすい環境を備えています。

昭和 9 年 10 月 1 日綾瀬村が町制を施行し蓮田町が発足し、昭和 29 年 5 月 3 日蓮田町・黒浜村・平野村の 1 町 2 村が合併して新たな蓮田町が発足となり、昭和 31 年 1 月 1 日岩槻市大字川島及び馬込の一部が編入し、昭和 47 年 10 月 1 日市制を施行し蓮田市となり、現在に至っています。

蓮田市章

中央に[ハ][ス][田]の文字、
そのまわりにはすの花を図案化したもの
です。



市の花

すいれん

初夏から初秋にかけて水面にひらく花の美しさはいうにいえないものがあり、一瞬の暑さを忘れさせてくれます。昔から洋の東西を問わず伝説や物語にも幾度となく登場し、蓮田の地名の由来にも深いかかわりがあります。

すいれん (すいれん科)



市の木

はなみずき

春には紅白のかれんな花をつけ秋にはみごとに紅葉します。樹性は強じんで土質を選ばず、しかも開花期が長く清らかで、その愛らしさは他に類をみず、伸びゆく蓮田市を象徴しています。

はなみずき (みずき科)



目 次

蓮田市消防の沿革	1
消防庁舎	3
[総務・警防関係]	4
人口推移・消防年度予算	5
消防組織	6
事務分掌	7
現有消防力・消防職員配置状況	10
消防吏員階級年齢調べ	11
勤続年数及び階級別消防吏員数	12
消防水利設置状況	13
消防自動車配置状況	14
消防相互応援協定	15
気象統計	16
[予防・保安関係]	19
防火対象物状況	20
中高層防火対象物状況	21
消防同意状況	22
訓練及び広報活動状況	23
予防関係届出状況	24
危険物施設状況	26
危険物許認可等事務処理状況	27
火薬類・液化石油ガス等移譲事務処理状況	28
火災増減状況	29
月別火災発生状況	30
地域別火災発生状況	32
過去10年間の火災の推移	33
覚知別・曜日別・時間帯別火災発生状況	34
[救急・救助関係]	35
救急概要	36
救急通報手段状況等	37
救急出動件数及び搬送件数	38
時間別出動件数	39
程度別搬送人員割合	40
事故種別年齢区分別搬送人員	41
現場到着所要時間別出動件数	42
救急支援活動状況等	43
公共施設のAED設置場所	44
救助活動状況	45
[消防団関係]	47
消防団	48

蓮田市消防の沿革（過去5年間）

昭和39年 1月 昭和29年の町村合併以来、純農村地帯であった当町にも年々都市化の波が押し寄せ人口が急激に増加した。

また、工場・事業所の進出や交通量の増加と共に危険物施設等が多くなり、常備消防の必要がせまられ、蓮田町上2丁目1番14号に蓮田町消防団常備部を設置する。部長に役場消防係、宮澤春雄氏が就任し、外6名の団員で業務を開始する。

（省略）

- 平成23年 3月 消防署救助工作車を更新する。
消防職員2名退職する。
4月 消防職員3名の増員により実員82名（消防吏員81名・事務吏員1名）となる。
消防団長に伊勢谷正和氏が就任する。
第34回救急救命士国家試験に1名合格する。
6月 消防職員1名（事務吏員1名）の市への異動により実員81名（消防吏員81名・事務吏員0名）となる。
8月 消防職員1名が退職し、実員80名（消防吏員80名）となる。
11月 元蓮田市消防職員 岡田誠一氏に第17回危険業務従事者叙勲が授与される。
12月 消防職員2名退職し、実員78名（消防吏員78名）となる。
- 平成24年 3月 消防長齋藤啓覚氏に消防庁長官より永年勤続功労章が授与される。
消防団第5分団詰所を解体処分し、黒浜3933番6に新築する。鉄骨2階建、102.06平方メートル。
防火水槽（耐震性）40立方メートル級II型1基（黒浜3933番地6第5分団詰所）設置する。
消防署、消防ポンプ自動車を購入し更新する。
消防職員4名退職する。
4月 消防職員7名の増員により実員81名（消防吏員81名・事務吏員0名）となる。
15代目消防長に岡野和男氏が就任する。
第35回救急救命士国家試験に1名合格する。
株式会社セイコーランドバンスより、訓練用屋内消火栓ボックス、消火用ホース等が寄贈される。
- 平成25年 1月 南分署高規格救急車を更新する。
3月 消防職員2名退職する。
4月 消防職員6名の増員により実員85名（消防吏員85名）となる。

- 第 36 回救急救命士国家試験に 1 名合格する。
- 9月 蓮田市消防署南分署の耐震補強を行う。
- 11月 元蓮田市消防職員矢島勤氏に第 21 回危険業務従事者叙勲が授与される。
消防団第 4 分団詰所完成する。大字井沼字雷電裏 1063 番 8、鉄骨 2 階建 102.06 平方メートル
- 12月 消防団第 2 分団ポンプ車を更新する。
- 平成 26 年 2月 耐震性防火水槽 40 立方メートル級 II 型 1 基（西城沼公園）設置する。
- 3月 消防救急無線のデジタル化を図り、無線設備を整備する。
高機能通信指令システムを整備する。
第 37 回救急救命士国家試験に 1 名合格する。
消防職員 2 名退職する。
- 4月 消防職員 4 名の増員、市役所に 1 名の派遣により実員 86 名（消防吏員 86 名・再任用 1 名）となる。
蓮田市消防団として、初めての女性消防団員を 4 名採用する。
救急救命士が 19 名となる。
- 7月 株式会社セイコーランドバンスより、消防署用車両（ワゴン R）1 台が寄贈される。
- 11月 元蓮田市消防職員、関根幸男氏に第 23 回危険業務従事者叙勲が授与される。
- 平成 27 年 2月 消防団第 4 分団の消防ポンプ自動車を更新する。
- 3月 副団長山口実氏に消防庁長官より永年勤続功労章が授与される。
第 38 回救急救命士国家試験に 1 名合格し、20 人目の救命士が誕生する。
消防職員 3 名退職する。
- 4月 消防職員 4 名の増員により、実員 87 名（消防吏員 87 名・再任用 2 名）となる。
消防職員 1 名退職する。
- 5月 元蓮田市消防職員、増田宗吉氏に第 24 回危険業務従事者叙勲が授与される。

消防庁舎

名 称	蓮田市消防本部・消防署
所 在 地	〒349 - 0133 埼玉県蓮田市大字閏戸 178 - 1 TEL : 048 - 768 - 0119
建設年月日	平成 16 年 7 月 7 日
構造・階数	鉄筋コンクリート・2階建
建築面積	1 2 9 1. 6 9 m ²
延 面 積	1 7 8 7. 2 8 m ²
敷地面積	5 0 4 2. 1 8 m ²



名 称	蓮田市消防署南分署
所 在 地	〒349 - 0114 埼玉県蓮田市馬込 1 丁目 256 TEL : 048 - 769 - 4396
建設年月日	昭和 54 年 3 月 31 日
構造・階数	鉄筋コンクリート・2階建
建築面積	2 1 4. 2 4 m ²
延 面 積	4 3 9. 7 2 m ²
敷地面積	1 0 2 9. 7 4 m ²



公務・警防關係

人口の推移

各年度 4月1日現在

区分 年度	人口	男	女	世帯数
平成23年度	63,796	31,922	31,874	25,546
平成24年度	63,543	31,781	31,762	25,781
平成25年度	63,321	31,653	31,668	25,784
平成26年度	62,948	31,464	31,484	25,897
平成27年度	62,747	31,281	31,466	26,120

年度別消防費予算（当初）に対する負担比較

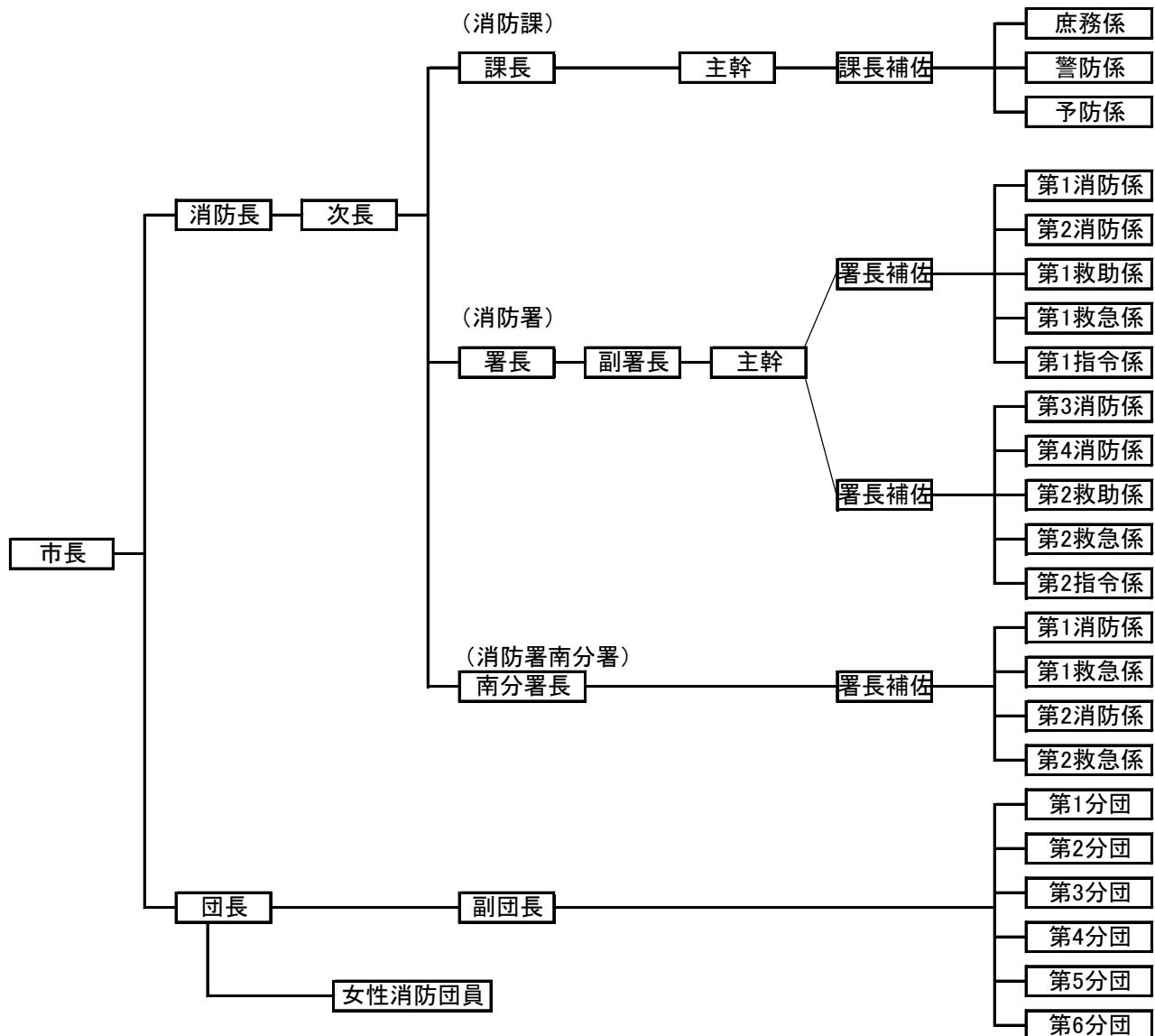
区分 年度	消防費予算（当初）（千円）	人口一人当り（円）	一世帯当り（円）
平成23年度	803,716	12,598	31,462
平成24年度	790,170	12,435	30,649
平成25年度	1,062,827	16,784	41,220
平成26年度	779,184	12,378	30,087
平成27年度	793,016	12,638	30,360

年度別一般会計予算に対する消防費

年 度	市 予 算（単位：千円）	消防費（千円）	比 率（%）
平成23年度	15,920,000	803,716	5.0
平成24年度	15,380,000	790,170	5.1
平成25年度	15,610,000	1,062,827	6.8
平成26年度	16,500,000	779,184	4.7
平成27年度	19,350,000	793,016	4.1

消防組織機構

平成27年4月1日現在



消防課とは

消防課は消防の任務を遂行するために必要な事務を行う機関で、庶務係・警防係・予防係の3係に分かれ、それぞれの事務分掌に基づき事務を担当しています。

消防署とは

市民の生命・身体・財産を守るため、日夜を問わず火災の予防・警戒・鎮圧及び救急・救助など現場活動の第一線として活躍しています。市内には本署・南分署の2署所があり（24時間制）勤務を実施しています。

消防団とは

消防以外の仕事を持つ市内在住又は在勤の郷土愛精神溢れる有志で組織している市の公的機関で1本部6ヶ分団で構成されており、消防署同様に市民の生命・身体・財産を火災や自然災害から守っている力強い団体です。

消防課事務分掌

庶務係

- (1) 公印の保管に関すること。
- (2) 職員の人事及び給与に関すること。
- (3) 例規に関すること。
- (4) 予算及び決算の総合調整に関すること。
- (5) 職員の被服の貸与に関すること。
- (6) 安全衛生管理に関すること。
- (7) 消防施設の整備計画及び保守に関すること。
- (8) 公有財産の取得、管理及び処分に関すること。
- (9) 情報公開及び個人情報保護の調整に関すること。
- (10) 消防団に関すること。
- (11) 消防表彰及び儀式に関すること。
- (12) 公務災害補償に関すること。
- (13) 職員の福利厚生に関すること。
- (14) 課内の庶務に関すること。

警防係

- (1) 警防計画及び演習訓練に関すること。
- (2) 消防車両及び資機材の整備及び管理に関すること。
- (3) 消防水利の計画及び検査に関すること。
- (4) 消防相互応援協定に関すること。
- (5) 開発行為に伴う指導又は協議に関すること。

- (6) 安全運転管理に関すること。
- (7) 救急及び救助の総括に関すること。
- (8) 応急手当の普及啓発に関すること。
- (9) 医療機関との連絡調整に関すること。

予防係

- (1) 火災予防の広報及び啓発に関すること。
- (2) 予防査察及び指導に関すること。
- (3) 建築確認等の同意事務に関すること。
- (4) 防火管理者の育成及び指導に関すること。
- (5) 消防用設備等の設置指導及び検査に関すること。
- (6) 火災予防関係法令の実施に関すること。
- (7) 火災原因及び損害調査に関すること。
- (8) 予防統計及び情報管理に関すること。
- (9) 住宅防火対策に関すること。
- (10) 火災のり災証明の交付に関すること。
- (11) 防火クラブの育成及び指導に関すること。
- (12) 消防訓練の指導に関すること。
- (13) 危険物製造所等の規制及び許認可事務に関すること。
- (14) 危険物製造所等の保安の確保及び指導に関すること。
- (15) 指定数量未満の危険物、指定可燃物等の規制及び指導に関すること。
- (16) 火薬類の規制事務に関すること。
- (17) 液化石油ガス等の保安の確保及び指導に関すること。
- (18) 危険物製造所等、火薬類及び液化石油ガス等の災害調査に関すること。
- (19) 危険物施設等の統計に関すること。
- (20) 防火安全協会に関すること。

消防署事務分掌

消防係

- (1) 火災等の警戒及び防御に関すること。
- (2) 消防水利の管理保全に関すること。
- (3) 消防機械器具の管理保全に関すること。
- (4) 警防調査に関すること。
- (5) 火災原因及び損害調査に関すること。
- (6) 火災予防条例に関すること。
- (7) 消防訓練に関すること。
- (8) 署内の庶務に関すること。
- (9) 他の主管に属さない事務に関すること。

救急係

- (1) 救急業務に関すること。
- (2) 救急講習の指導及び訓練に関すること。
- (3) 救急車及び救急資機材の管理保全に関すること。
- (4) 救急統計及び報告に関すること。
- (5) 救急救命処置技術の研究に関すること。
- (6) その他救急に関すること。

救助係

- (1) 救助業務に関すること。
- (2) 特殊災害の警防活動に関すること。
- (3) 救助訓練に関すること。
- (4) 救助工作車及び救助資機材の管理保全に関すること。
- (5) 救助調査に関すること。
- (6) 救助統計及び報告に関すること。
- (7) その他救助に関すること。

指令係

- (1) 各種災害の出動指令及び部隊運用に関すること。
- (2) 各種災害情報の収集及び伝達に関すること。
- (3) 消防用通信施設の運用及び維持管理に関すること。
- (4) 救急医療情報の収集及び伝達に関すること。
- (5) 消防信号に関すること。
- (6) 通信指令業務の訓練及び技術の指導に関すること。
- (7) 災害通信記録に関すること。
- (8) 消防気象観測及び統計に関すること。
- (9) 緊急通報システムの運用に関すること。
- (10) その他指令業務に関すること。

現有消防力の比較

この基準（平成12年1月20日消防庁告示第1号）は、市町村が火災の予防・警戒及び鎮圧、救急業務並びに人命の救助等を確実に遂行し、当該市町村の区域における消防の責任を十分に果すために必要な施設及び人員について定められたものです。

現在、当市の人員及び施設は基準以下となっていますので、できるだけ基準に達するよう計画的に整備を推進していく必要があります。

【平成26年10月『消防力の整備指針』及び『消防水利の基準』一部改正】

(1) 施 設

区分	種別	基 準 数	現 有	充 足 率 (%)
署 所		2	2	100
消防ポンプ自動車		4	4	100
はしご自動車		1	0	0
化学消防自動車		1	1	100
救急自動車		4	3	75.0
救助工作車		1	1	100
指揮車		1	0	0

※指揮車は指令車により代替

(2) 人 員

平成27年4月1日現在

区分	種別	基 準 数	現 有	充 足 率 (%)
消 防 隊 員				
救 急 隊 員		97	68	70.1
救 助 隊 員				
指 挥 隊 員				
通 信 員		5	4	80.0
予 防 要 員		8	4	50.0
庶務の処理等人員		11	11	100
消防吏員合計		121	87	71.9

消防職員配置状況

平成27年4月1日現在

階級 所属	合 計	司令長	司令	司令補	士 長	副士長	消防士	その他の
消防本部	13[1]	1	5	2	1	4[1]		
消防署	53[5]		14	14	2[1]	8[2]	15[2]	2
南分署	21		6	6	1	5	3	
合 計	87[6]	1	25	22	4[1]	17[3]	18[2]	

[] : 女性 ※その他は合計に含まない

階級年齢別消防職員数

平成27年4月1日現在

	合計	うち女性	司令長	司令	司令補	士長	副士長	消防士
18歳	1							1
19歳								
20歳								
21歳	5							5
22歳	5							5
23歳	4	2						4
24歳	3						1	2
25歳	4						3	1
26歳								
27歳	1						1	
28歳	4	2					4	
29歳	5	1					5	
30歳								
31歳	4					1	3	
32歳								
33歳	1					1		
34歳	2				1	1		
35歳	2	1			1	1		
36歳								
37歳	4				4			
38歳	4				4			
39歳	3				3			
40歳	1				1			
41歳	4				4			
42歳	1				1			
43歳								
44歳	1				1			
45歳	1				1			
46歳								
47歳	1				1			
48歳								
49歳	2			2				
50歳	1			1				
51歳	4			4				
52歳	1			1				
53歳	2			2				
54歳	4			4				
55歳	2			2				
56歳	2			2				
57歳	3			3				
58歳	2		1	1				
59歳	3			3				
60歳								
合計	87	6	1	25	22	4	17	18

勤続年階級別消防職員数

平成27年4月1日現在

	合計	うち女性	司令長	司令	司令補	士長	副士長	消防士
1年未満	4	1						4
1年	4	1						4
2年	6							6
3年	7						4	3
4年	2						1	1
5年	6	1					6	
6年	3	1					3	
7年	2	1					2	
8年								
9年								
10年	1						1	
11年	4	1				4		
12年								
13年	1				1			
14年								
15年	2				2			
16年	1				1			
17年	1				1			
18年	4				4			
19年	4				4			
20年	2				2			
21年	2				2			
22年	2				2			
23年	2				2			
24年	1				1			
25年	1			1				
26年	1			1				
27年	1			1				
28年								
29年								
30年	2			2				
31年	1			1				
32年	2			2				
33年								
34年	4			4				
35年	4			4				
36年	3		1	2				
37年	1			1				
38年	1			1				
39年	3			3				
40年								
41年	2			2				
42年								
43年								
44年								
45年								
合計	87	6	1	25	22	4	17	18

消防水利設置状況

消防水利には、消火栓、防火水槽、プールなどの人工水利と、河川、池、海などの自然水利に区別できますが、当市ではその大部分を人工水利で占めています。消火栓は連続的に給水され、かつ、簡便に使用できる反面、配管口径による給水量の制約、断・減水時の取水難、さらに地震時には配管の破損などの弱点をあわせもっています。

こうした消火栓の弱点をカバーするために、防火水槽などを地域の実情に応じて計画的に整備するものです。

消防水利表

平成27年4月1日現在

水利 合計	消火栓	防火水槽（公設）		防火水槽（私設）				プール
		防火水槽	うち2次 製品（耐震 含む）	防火水槽等	防火水槽	うち2次 製品 (耐震含 む)	その他	
849	652	82	27	101	95	42	6	14

* 他の分類（最沈槽1・受水槽1・蓄熱槽1・排水槽2・分離液貯留槽1）

※ 河川として元荒川（椿山2丁目地内）を指定

消防自動車配置状況 (消防本部・署)

平成27年4月1日現在

配置	種別	車名	型式	ポンプ会社名	ポンプ級別・型式	購入年月日	備考
消防本部	指令車	ホンダ	DBA-RK1			H22.3	
	広報指導車	ホンダ	E-RF1			H11.3	
	連絡車	トヨタ	DBA-NZE141			H19.3	
	連絡車	スズキ	DBA-MH21S			H26.6	寄贈車 贈セイコーラドバンス
	連絡車	スズキ	EBD-DA64V			H21.5	
消防署	水槽付ポンプ車	ヒノ	KK-FD1JEEA改	(株)モリタ	A-2級 I-A型	H15.11	水槽 1500L
	消防車	ヒノ	SKG-XZU640M	長野ポンプ (株)	A-2級 CD-I型	H24.3	水槽 700L
	化学車	ヒノ	ADG-GD7 JGWA改	(株)モリタ	A-2級 II型	H18.3	水槽 1300L 薬液 500L
	救助工作車	ヒノ	BDG-GX7J GWA改		II型	H23.2	
	救急車	トヨタ	TC-VCH32S		高規格	H16.2	
	救急車	トヨタ	CBF-TRH226S		高規格	H19.3	
	資機材搬送車	マツダ	GE-SYE6T			H14.1	
南分署	広報指導車	トヨタ	CBA-NCP58G			H22.2	寄贈車 贈セイコーラドバンス
	水槽付ポンプ車	ヒノ	ADG-FD7 JEWA改	(株)モリタ	A-2級 I-A型	H18.3	水槽 1100L
	消防車	ヒノ	KK-XZU331M	(株)モリタ	A-2級 CD-I型	H15.3	
	救急車	トヨタ	CBF-TRH226S		高規格	H25.1	

※南分署：広報指導車は寄付金により購入。

消防相互応援協定

この協定は、消防組織法第39条の規定に基づき、市・消防本部及び組合消防本部と相互の消防力を活用して災害による被害を最小限に防止することを目的とする。

平成27年4月1日現在

市・町・組合	協定締結年月日	協定内容（災害種別）
伊奈町	平成18年11月14日	伊奈町・蓮田市消防相互応援協定 (災害特定なし)
上尾市	平成18年12月1日	上尾市・蓮田市消防相互応援協定 (災害特定なし)
川口市・さいたま市・ ・埼玉東部消防組合・ 羽生市・群馬県館林地区消防組合	平成27年3月27日	東北高速道路管内市町・組合（火災・救急）間の 消防相互応援協定
さいたま市	平成18年9月6日	さいたま市・蓮田市消防相互応援協定 (災害特定なし)
埼玉県央広域	平成19年1月1日	埼玉県央広域・蓮田市消防相互応援協定 (災害特定なし)
埼玉県下の市町村、 消防の一部事務組合 及び消防を含む一部 事務組合	平成19年7月1日	埼玉県下消防相互応援協定
久喜市	平成24年6月6日	蓮田市・久喜市消防相互応援協定（消防団） (災害特定なし)
白岡市	平成25年4月1日	白岡市・蓮田市消防相互応援協定（消防団） (災害特定なし)
埼玉東部消防組合	平成25年4月26日	蓮田市・埼玉東部消防組合消防相互応援協定 (消防団除く、災害特定なし)

その他の応援協定

平成27年4月1日現在

締結機関	協定締結年月日	協定内容
埼玉県	平成3年3月29日	埼玉県防災ヘリコプター応援協定
埼玉県鉄道災害消防活動連絡協議会	平成18年12月1日	鉄道災害における鉄道事業者と消防機関との連携に関する協定
埼玉県	平成19年11月27日	埼玉県と消防機関及び埼玉DMATの災害時等における高速自動車国道等の使用の取扱いに関する協定

月別気象統計

平成26年中

	最高 気温	最低 気温	平均 気温	最大 風速	平均 風速	最高 湿度	最小 湿度	平均 湿度	総雨量	快 晴	晴 れ	曇 り	雨	雪
1月	14.3	-3.8	3.80	20.9	1.90	96.3	16.3	49.00	14.5	15	11	5	0	0
2月	17.9	-3.2	3.90	27.4	2.20	97.5	21.6	57.30	131.0	7	9	8	1	3
3月	23.4	-1.6	8.60	22.5	2.50	97.4	12.5	54.50	65.0	14	6	7	4	0
4月	25.2	3.5	13.60	20.5	2.20	97.5	8.3	55.30	87.5	8	13	6	3	0
5月	32.6	7.6	19.50	19.5	2.40	97.4	10.8	61.10	99.0	8	12	10	1	0
6月	34.8	17.2	22.60	16.9	1.90	97.5	12.5	77.60	349.5	3	8	11	8	0
7月	36.7	18.9	26.00	17.4	1.80	97.5	29.1	76.80	111.0	0	20	9	2	0
8月	37.9	18.8	26.70	21.6	1.90	97.5	32.7	78.50	99.5	3	13	13	2	0
9月	31.1	13	21.70	16.3	1.60	97.7	28.6	75.80	77.0	5	10	13	2	0
10月	31.3	6.6	17.30	25.3	1.80	97.7	24.1	75.70	278.0	8	11	6	6	0
11月	21.2	2.5	12.10	16.4	1.60	98	22.5	73.60	67.5	8	7	8	7	0
12月	14.4	-4.1	5.20	20.4	1.80	97.7	18.8	63.70	49.5	18	3	6	4	0
合計									1429.0	97	123	102	40	3
平均	26.73	6.28	15.08	20.43	1.97	97.48	19.82	66.58	119.1					

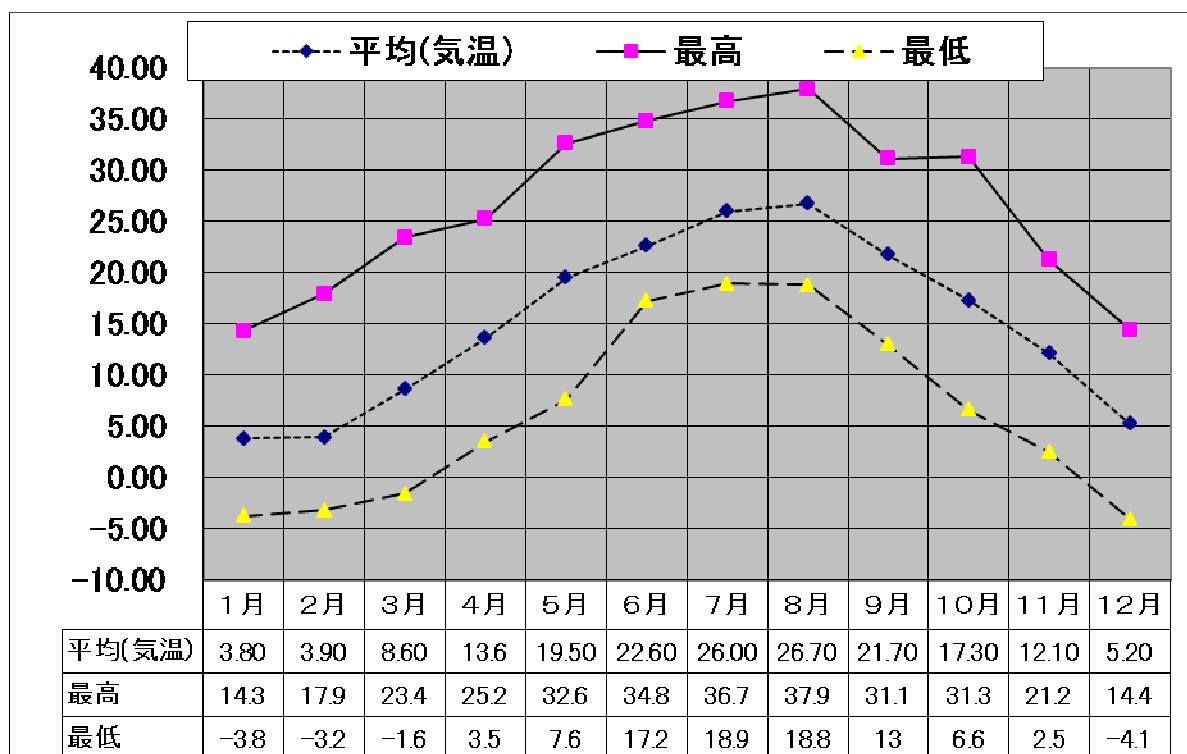
各注意報・警報等発令状況

平成26年中

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
警報	暴風警報	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	暴風雪警報	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	大雨警報	0	0	0	0	0	7	1	1	1	4	0	0	14
	洪水警報	0	0	0	0	1	1	1	1	1	3	0	0	7
	雷警報	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	大雪警報	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
合計		0	2	0	0	1	8	2	2	2	7	0	0	23
注意報	風雪注意報	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	強風注意報	9	2	11	3	9	0	2	2	0	5	2	6	51
	大雨注意報	0	1	0	1	2	14	11	9	8	4	0	0	50
	洪水注意報	0	1	0	1	2	15	11	8	8	4	0	0	50
	大雪注意報	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	雷注意報	0	1	1	8	10	24	20	22	12	7	1	2	108
	乾燥注意報	24	14	16	18	11	1	0	0	0	1	3	19	107
	濃霧注意報	1	1	2	0	4	4	2	2	2	1	5	2	26
	霜注意報	0	0	4	9	0	0	0	0	0	0	0	0	13
	高温注意報	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	低温注意報	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	竜巻注意報	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	着雪注意報	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
合計		34	31	34	40	38	58	46	43	30	22	11	0	387

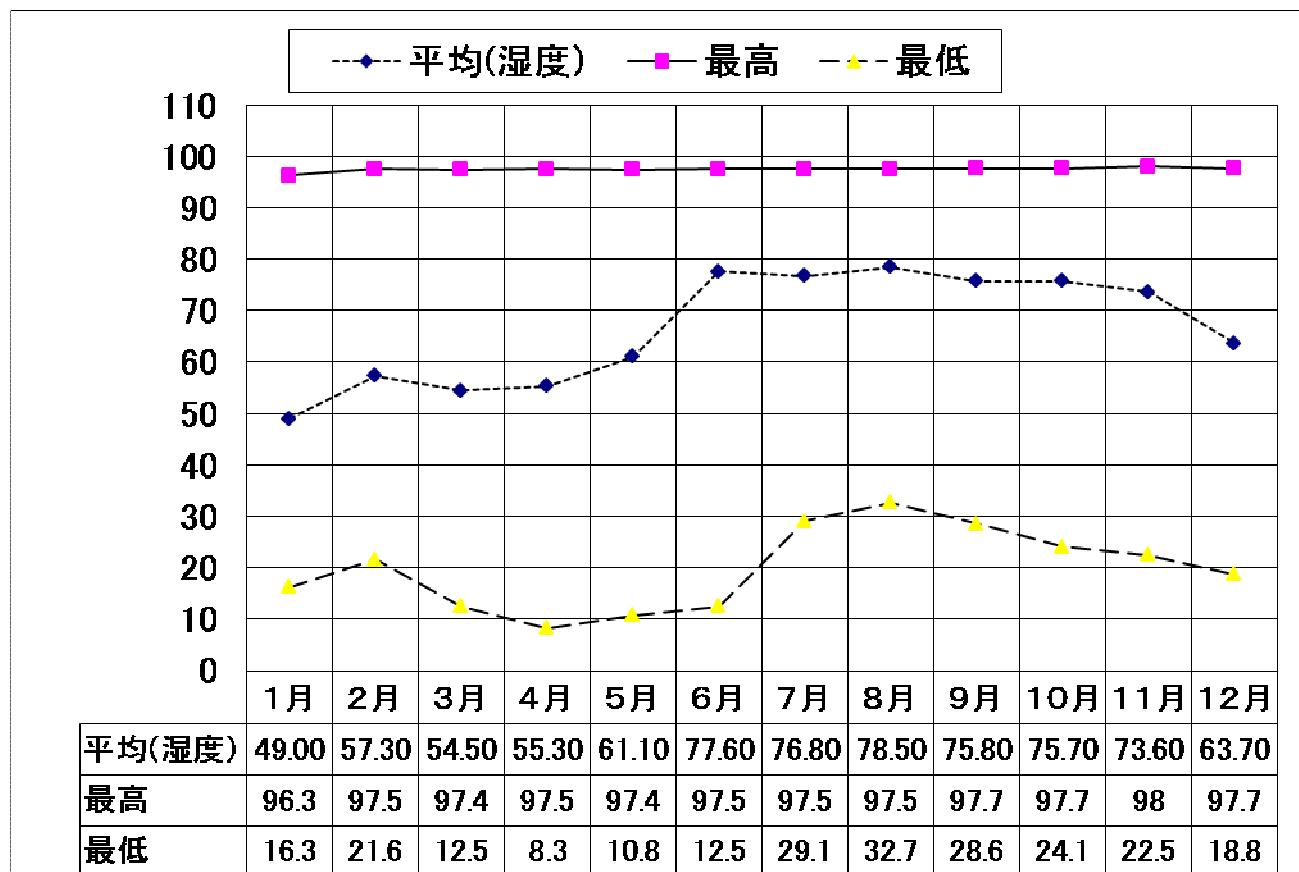
気 温

平成 26 年中



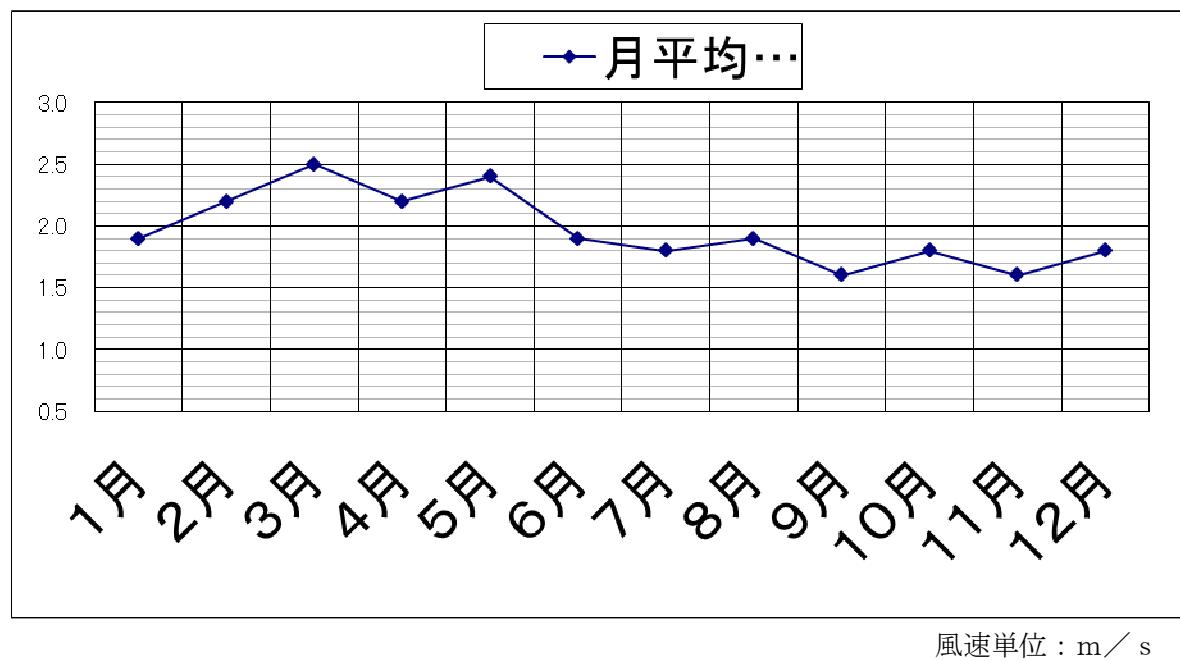
湿 度

平成 26 年中



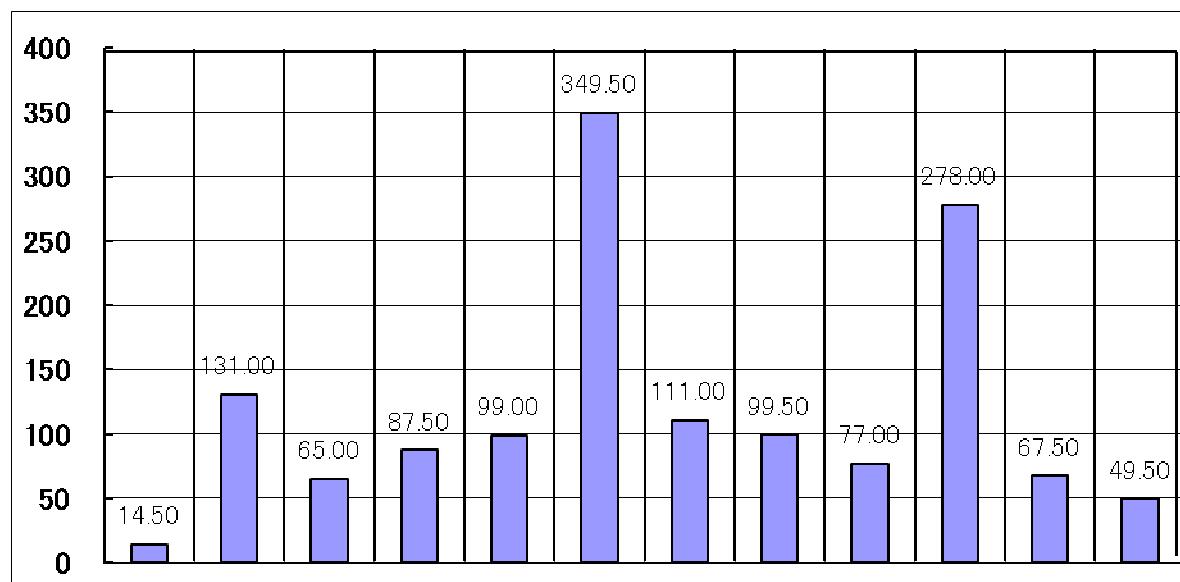
風 速

平成 26 年中



雨 量

平成 26 年中



月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
月雨量	14.5	131	65	87.5	99	349.5	111	99.5	77	278	67.5	49.5

雨量単位 : mm

予防・保安関係

防火対象物状況

平成27年3月31日現在

用途	内容	総数			防火管理者届出	消防計画届出	査察
			地下階以下	地上階以上			
1	イ 劇場、映画館、演芸場、観覧場						
	ロ 公会堂、集会場	18			22	22	
2	イ キャバレー、ナイトクラブ等						
	ロ 遊技場、ダンスホール	3			5	5	
	ハ 風俗営業等						
	ニ カラオケボックス、個室店舗等	1			1	1	
3	イ 待合、料理店等	3			4	2	
	ロ 飲食店	22			32	20	
4	百貨店、店舗、マーケット等	76	1		37	34	2
5	イ 旅館、ホテル、宿泊所	4		2	4	4	
	ロ 寄宿舎、下宿、共同住宅	634		25	13	13	
6	イ 病院、診療所、助産所	38		2	11	7	1
	ロ 福祉施設（通所施設を除く）等	20		2	13	13	
	ハ 福祉施設（通所施設等）、保育所等	19			11	10	
	ニ 幼稚園、特別支援学校	12	1		8	6	
7	小、中、高等学校、各種学校	53		1	14	14	14
8	図書館、博物館、美術館	2			1	1	
9	イ 蒸気浴場、熱気浴場						
	ロ イに掲げる以外の公衆浴場						
10	車両の停車場等	1					
11	神社、寺院、教会	14	1		9	9	
12	イ 工場、作業場	182			23	23	
	ロ 映画スタジオ、テレビスタジオ						
13	イ 自動車車庫、駐車場	13					
	ロ 飛行機の格納庫						
14	倉庫	103	3		2	2	
15	前各項に該当しない事業場	123	8	1	18	18	1
16	イ 特定対象物の複合用途建物	129	2	5	17	9	
	ロ イ以外の複合用途建物	53	2	2	1	1	
16の2	地下街						
16の3	準地下街						
17	重要文化財・史跡等						
18	延長50m以上のアーケード						
合 計		1523	17	41	246	214	18

中高層防火対象物

平成27年3月31日現在

用途		階別	4階	5階	6階	7階	8階	9階	10階	11階以上	総数
1	イ	劇場、映画館、演芸場、観覧場									0
	口	公会堂、集会場									0
2	イ	キャバレー、ナイトクラブ等									0
	口	遊技場、ダンスホール									0
2	ハ	風俗営業等									0
	二	カラオケボックス、個室店舗等									0
3	イ	待合、料理店等									0
	口	飲食店									0
4	百貨店、店舗、マーケット等	1									1
5	イ	旅館、ホテル、宿泊所		2							2
	口	寄宿舎、下宿、共同住宅	8	18	3		2		1		32
6	イ	病院、診療所、助産所	2			2					4
	口	福祉施設（通所施設を除く）等	2		1				1		4
6	ハ	福祉施設（通所施設等）、保育所等									0
	二	幼稚園、特別支援学校									0
7	小、中、高等学校、各種学校	5	1								6
8	図書館、博物館、美術館										0
9	イ	蒸気浴場、熱気浴場									0
	口	イに掲げる以外の公衆浴場									0
10	車両の停車場等										0
11	神社、寺院、教会										0
12	イ	工場、作業場	1								1
	口	映画スタジオ、テレビスタジオ									0
13	イ	自動車車庫、駐車場									0
	口	飛行機の格納庫									0
14	倉庫	1									1
15	前各項に該当しない事業場	3	1								4
16	イ	特定対象物の複合用途建物	7	3	1						11
	口	イ以外の複合用途建物	3	1	1						5
16の2	地下街										0
16の3	準地下街										0
17	重要文化財・史跡等										0
18	延長50m以上のアーケード										0
合計		33	26	6	2	2	0	1	1		71

消防同意

平成26年度

用途		種別	新築	増築	改築	移転	修繕	模様替	用途変更	その他	合計
1	イ	劇場、映画館、演芸場、観覧場									0
	ロ	公会堂、集会場	1	2							3
2	イ	キャバレー、ナイトクラブ等									0
	ロ	遊技場、ダンスホール									0
3	ハ	風俗営業等									0
	二	カラオケボックス、個室店舗等									0
4	イ	待合、料理店等									0
	ロ	飲食店									0
5	4	百貨店、店舗、マーケット等	7								7
5	イ	旅館、ホテル、宿泊所									0
	ロ	寄宿舎、下宿、共同住宅	7								7
6	イ	病院、診療所、助産所									0
	ロ	福祉施設（通所施設を除く）等		4							4
6	ハ	福祉施設、保育所等									0
	二	幼稚園、特別支援学校		1							1
7	7	小、中、高等学校、各種学校		2							2
8	8	図書館、博物館、美術館									0
9	イ	蒸気浴場、熱気浴場									0
	ロ	イに掲げる以外の公衆浴場									0
10	10	車両の停車場等									0
11	11	神社、寺院、教会									0
12	イ	工場、作業場	5	5							10
	ロ	映画スタジオ、テレビスタジオ									0
13	イ	自動車車庫、駐車場	1								1
	ロ	飛行機の格納庫									0
14	14	倉庫		3							3
15	15	前各項に該当しない事業場	1	3					1		5
16	イ	特定対象物の複合用途建物	2						1		3
	ロ	イ以外の複合用途建物	2								2
16の2	16の2	地下街									0
16の3	16の3	準地下街									0
17	17	重要文化財・史跡等									0
18	18	延長50m以上のアーケード									0
専用住宅			3	5							8
長屋			11								11
その他			2	4							6
合計			46	25	0	0	0	0	0	0	73

訓練及び広報活動状況

消防訓練

平成26年度

回数・人 種別	延べ訓練回数	201回
	延べ訓練参加人数	11039人
消火訓練	訓練回数	151回
	参加人数	6796人
避難訓練	訓練回数	162回
	参加人数	8153人
通報訓練	訓練回数	116回
地震・煙体験・救出救護訓練 などその他の訓練	訓練回数	71回
	参加人数	6306人

※ 消防本部に届出のあったものです。

※ 市内の自主防災組織、自治会で届出のあったものを含みます。

広報活動

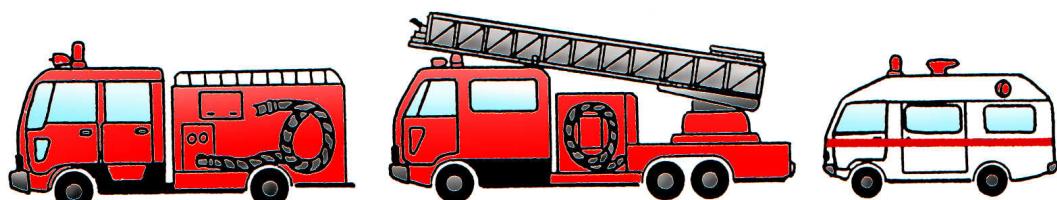
平成26年度

種別	対象	件数
消防車による巡回広報活動	市内全域	82回 84時間36分
火災予防啓蒙活動	一般	まつり 4回 火災予防PR 2回
住宅用防災警報機PR活動	一般	対象物等 2回 600人 その他 4回 800人

住宅防火

平成26年度

住宅防火PR	独居・老夫婦世帯	25回 344世帯
--------	----------	--------------



消防用設備着工届出・設置届出状況

平成26年度

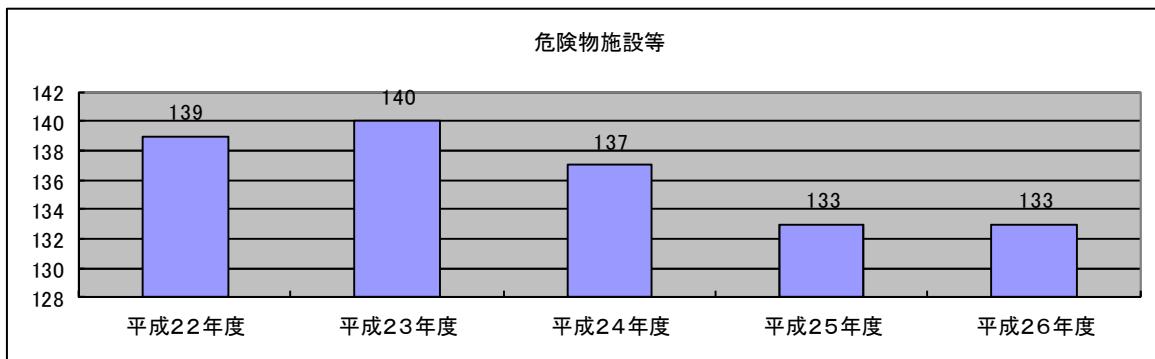
設備名	着工届	設置届出
消防用設備等	消火器	39
	屋内消火栓設備	1 1
	スプリンクラー設備	7 6
	水噴霧等消火設備	
	泡消火設備	
	不活性ガス消火設備	
	ハロン化物消火設備	
	粉末消火設備	
	屋外消火栓設備	2 4
	動力消防ポンプ設備	
警報設備	フード等用簡易消火設備	
	自動火災報知設備	26 47
	ガス漏れ火災警報設備	
	漏電火災警報設備	
	消防機関へ通報する火災報知設備	3 2
避難設備	非常警報設備	10
	避難器具	1
	誘導灯	31
	誘導標識	3
消防用水		1
消防活動上必要な施設	排煙設備	1
	連結散水設備	
	連結送水管	1
	非常コンセント設備	
	無線通信補助設備	
	水圧シャッター	
必要とされる防火安全性能を有する消防の用に供する設備等	パッケージ型消火設備	1 1
	パッケージ型自動消火設備	
	住戸用自動火災報知設備	

消防法・蓮田市火災予防条例に基づく届出等の状況

平成26年度

届出項目	件数
防火管理者選(解)任届出	75
消防計画作成(変更含む)届出	83
防火対象物定期点検結果報告	24
防火対象物点検報告特例認定申請書	2
消防用設備等着工届出	39
消防用設備等設置届出	147
消防用設備等点検報告	311
防災管理者選(解)任届出	2
管理権原者変更届出	1
全体についての消防計画の届出	0
自衛消防組織設置(変更)届出	1
防火対象物使用開始届出	47
火災とまぎらわしい届出	35
煙火打ち上げ	0
変電設備	12
蓄電池設備	1
催物開催届出	5
露店等の開設届出書	8
給湯湯沸設備設置届出	1
禁止行為の解除承認申請	6
少量危険物貯蔵取扱い届出	3
圧縮アセチレン等の貯蔵取扱い(開始)届出	3
指定可燃物貯蔵取扱い届出	1

危険物施設等の過去 5 年の推移



危険物類別施設数

平成 27 年 3 月 31 日現在

種別 区分	第一 類	第二 類	第三 類	第四 類	第五 類	第六 類	混 在	合 計
製造所				2			1	3
貯 蔵 所	屋内貯蔵所			20			2	22
	屋外貯蔵所			5				5
	屋内タンク貯蔵所							0
	屋外タンク貯蔵所			30				30
	地下タンク貯蔵所			23				23
	移動タンク貯蔵所			9				9
取 扱 所	給油取扱所			19				19
	一般取扱所			22				22
合計	0	0	0	130	0	0	3	133

危険物関係手数料内訳

平成 27 年 3 月 31 日現在

内容 区分	許可		完成検査		タンク検査		仮 使 用 貯 蔵 承 認	合 計
	設置	変更	設置	変更	水圧	水張		
製造所								0
貯 蔵 所	屋内貯蔵所	60,000	23,000	20,000	6,500		5,400	114,900
	屋外貯蔵所							0
	屋内タンク貯蔵所							0
	屋外タンク貯蔵所		10,000		5,000	33,000		48,000
	地下タンク貯蔵所							0
	移動タンク貯蔵所							0
取 扱 所	給油取扱所		52,000		26,000		10,800	88,800
	一般取扱所		451,500		193,250		59,400	704,150
合計	60,000	536,500	20,000	230,750	0	33,000	75,600	955,850

危険物製造所等の設置許可状況(数量別)

平成27年3月31日現在

区分 倍数別	製造所	貯蔵所					取扱所		合計	
		屋内貯蔵所	屋外貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	給油取扱所		
施 設 数	3	22	5	0	30	23	9	19	22	133
10倍以下		13	1		8	13	8	1	13	57
10倍を越え100倍以下		7	3		14	8	1	5	6	44
100倍を超える200倍以下	2	2	1		3			4	2	14
200倍を超える1000倍以下	1				5	2		9	1	18
1000倍を超えるもの										0

危険物事務処理状況

平成26年度

区分 内容	製造所	貯蔵所					取扱所		合計	
		屋内貯蔵所	屋外貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	給油取扱所		
施 設 数	3	22	5	0	30	23	9	19	22	133
処理件数	許可申請	設置	3							3
		変更	2			1		2	12	17
	仮使用等承認申請		1					2	11	14
	承認件数		1					2	11	14
	完成検査件数		3			1		2	11	17
	完成検査済証交付数	設置	2							2
		変更	1							1
	タンク検査申請					3				3
	タンク検査済証交付数	水張				3				3
		水圧								0
	予防規定認可申請	制定								0
		変更								0

移譲事務関係

1 火薬類に係る許認可関係

平成26年度

火薬類及び種類 許可の分類	産業火薬類						煙	火	合計	
	火薬		火工品		火薬・火工品					
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
譲渡許可										
譲受許可	火工品のみ									
	火薬 25 kg以下									
	火薬 25 kg超									
消費許可	(0)		(0)		(0)				(0)	
合計	(0)		(0)		(0)				(0)	

注1 譲受消費許可の場合は、譲受許可として計数しています。

その場合＊＊（ ）内にも計数しますので、（ ）内は手数料不要の消費許可件数となります。

2 国の機関への承認は、この表には含めていません。

3 金額の単位は円です。

2 液化石油ガス、高圧ガス等に係る許認可関係

液化石油ガス設備工事の届出

平成26年度

貯蔵設備	件数
容器	
バルク貯槽	2
バルク容器	
合計	2

特定液化石油ガス設備工事事業の開始、変更又は廃止届出 平成26年度

届出	件数
開始	
廃止	
変更	
合計	0

火災発生状況

平成25年～平成26年

区分	年度増	平成26年 (件)	平成25年 (件)	増減 (件)	増減率 (%)
火災発生件数	26	28	△2	△7	
種別	建物火災	11	12	△1	△8
	車両火災	4	0	4	400
	その他火災	11	16	△5	△31
負傷者	3	4	△1	△25	
死者	2	0	2	200	
焼損表面積 (m ²)	83	5	78	1560	
焼損床面積 (m ²)	508	410	98	24	
焼損棟数	24	14	10	71	
火元焼損区分	全焼	4	3	1	33
	半焼	0	0	0	0
	部分焼	4	3	1	33
	ぼや	3	5	△2	△40
延焼による棟数	13	3	10	333	
り災世帯	12	7	5	71	
り災人員	29	17	12	71	
損害額	建物 (千円)	20,338	11,585	8753	76
	内容物 (千円)	7,365	114,608	△107,243	△94
	その他 (千円)	4,449	5,536	△1,087	△20
	合計 (千円)	32,152	131,729	△99,577	△76
出火原因	放火 (疑い含む)	5	2	3	150
	たばこ	0	0	0	0
	こんろ	1	2	△1	△50
	その他	14	17	△3	△18
	不明	6	7	△1	△14

(注) 1 △は負数を表します。

2 増減率は、表示単位未満を四捨五入しています。

3 出火原因のその他とは、放火 (疑い含む)・たばこ・こんろ・不明以外の原因を
いいます。

月別火災発生状況

平成26年中

月別 区分		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
火災発生件数		4	4	2	2	3	2	3	1	1	0	2	2	26
種別	建物火災	1	1	2		1	1	1	1			1	2	11
	車両火災						1	1		1		1		4
	その他火災	3	3		2	2		1						11
負傷者			1	1		1								3
死者													2	2
焼損表面積 (m ²)		10	1			7			3			23	39	83
焼損床面積 (m ²)				10		45		1				73	379	508
焼損棟数		1	1	2		3	1	1	1			4	10	24
火元 焼損区分	全焼					1						1	2	4
	半焼													0
	部分焼	1	1	1					1					4
	ぼや			1			1	1						3
延焼による棟数						2						3	8	13
延焼 棟焼損区分	全焼												5	5
	半焼													
	部分焼					1						3	1	5
	ぼや					1							2	3
り災世帯		1		1		2	1					4	3	12
損害 区分	全損											1	1	2
	半損			1		1								2
	小損	1				1	1					3	2	8
り災人員		4		2		3	2					10	8	29
損害 額	建物 (千円)	1,227		964		13,466			559			1,221	2,901	20,338
	内容物 (千円)	145	600			3,261						1,212	2,147	7,365
	その他 (千円)				1,800	220			205			24	2,200	4,449
	合計 (千円)	1,372	600	964	1,800	16,947	0	0	559	205		2,457	7,248	32,152

主な出火原因の月別火災発生状況

平成26年中

月 区分		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
火災発生件数		4	4	2	2	3	2	3	1	1	0	2	2	26
種別	建物火災	1	1	2		1	1	1	1			1	2	11
	車両火災						1	1		1		1		4
	その他火災	3	3		2	2		1						11
主な出火原因別	焚き火・枯草・ごみ等の焼却中の延焼・焼却の不始末	2		1	1		1						1	6
	ろうそく等の裸火													0
	交通事故									1				1
	たばこ													0
	ストーブ													0
	ガスコンロ								1					1
	電灯・電話等の配線		1											1
	落雷													0
	放火(疑い含む)	1	2	1								1		5
	その他			1		1	2	2						6
	不明	1	1		1	1						1	1	6

主な出火原因別	種別(件)				焼損棟数(棟)					り災世帯	り災人員	死傷者(人)	
	合計	建物	車両	その他	合計	全焼	半焼	部分焼	ぼや			死者	負傷者
枯草・ごみ等の焼却中の延焼・焼却の不始末	6	1		5	7	6		1		1	3		1
ろうそくの裸火	0				0								
交通事故	1		1		0								
たばこ	0				0								
ストーブ	0				0								
ガスコンロ	1	1			1			1					
電灯・電話等の配線	1	1			1			1					1
落雷	0				0								
放火(疑い含む)	5	2	1	2	2			2		2	6		1
その他	6	4	2		6	1		1	4	3	5		
不明	6	2		4	7	2		3	2	6	15	2	

地域出火件数

平成26年中

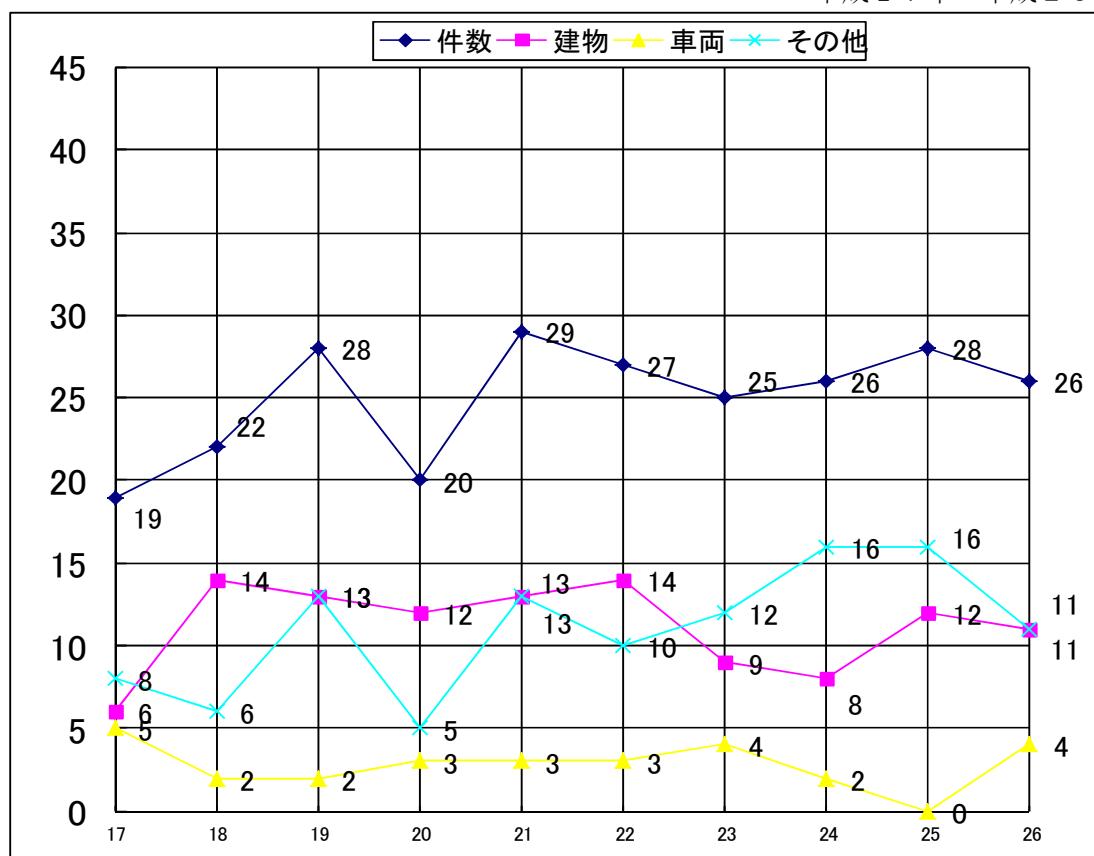
地区区分		綾瀬	井沼	閨戸	江崎	御前橋	貝塚	上	上平野	川島	黒浜
火災発生件数		0	3	4	2	0	0	0	2	2	6
種別	建物火災		1	1	1						3
	車両火災		2								1
	その他火災			3	1				2	2	2
地区区分		駒崎	桜台	笛山	城	末広	関山	高虫	椿山	西新宿	西城
火災発生件数		0	0	1	0	0	2	1	1	0	0
種別	建物火災						2	1	1		
	車両火災										
	その他火災			1							
地区区分		根金	蓮田	東	本町	馬込	緑町	南新宿	見沼町	山内	
火災発生件数		0	1	0	0	1	0	0	0	0	
種別	建物火災					1					
	車両火災		1								
	その他火災										

過去5年間における原因別火災発生状況

年別 原因別		平成26年	平成25年	平成24年	平成23年	平成22年	合計
焚き火・枯草・ごみ等の焼却中の延焼・焼却の不始末		6	13	5	5	4	33
ストーブ		0	0	0	0	1	1
電灯・電話等の配線		1	1	0	1	1	4
子供の火遊び		0	0	0	0	1	1
たばこ		0	0	2	4	0	6
ガスコンロ		1	2	0	4	2	9
放火(疑い含む)		5	2	0	0	2	9
その他		7	3	5	4	8	27
不明		6	7	14	7	8	42
合計		26	28	26	25	27	132

過去 10 年間の蓮田市における火災発生件数と推移

平成 17 年～平成 26 年

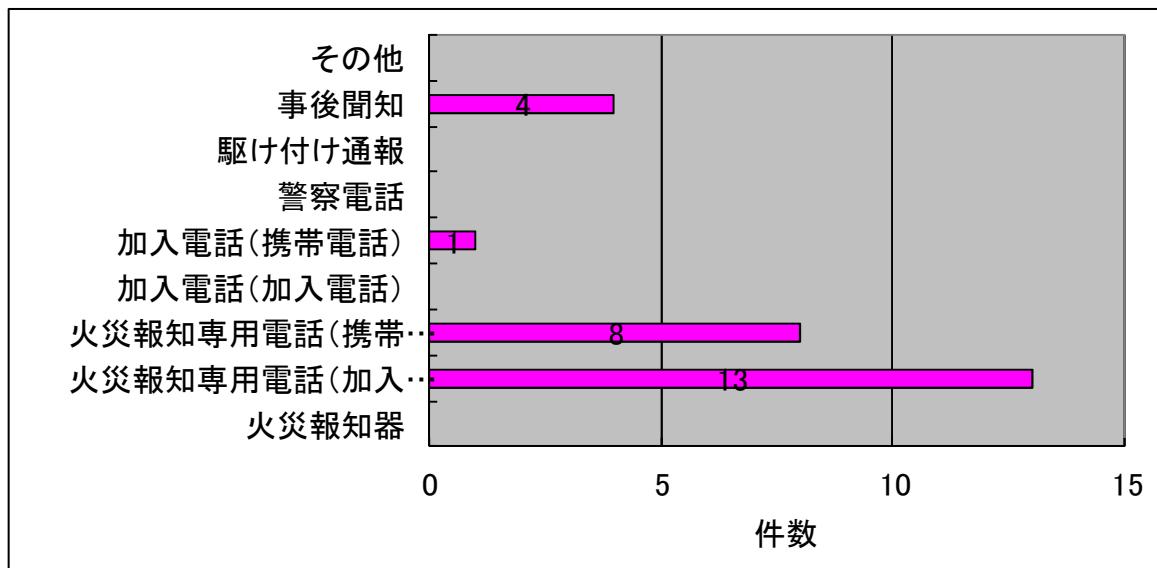


年別	17 年	18 年	19 年	20 年	21 年	22 年	23 年	24 年	25 年	26 年
件数	19	22	28	20	29	27	25	26	28	26
建物	6	14	13	12	13	14	9	8	12	11
車両	5	2	2	3	3	3	4	2	0	4
その他	8	6	13	5	13	10	12	16	16	11
損害額	24,976	19,180	21,741	102,737	68,427	16,801	57,452	85,000	131,729	32,152
建物	11,658	9,394	19,032	82,147	50,706	4,656	38,079	24,718	11,585	20,338
収容物	3,400	9,531	2,403	15,963	14,496	2,993	10,921	39,005	114,608	7,365
その他	9,918	255	306	4,627	3,225	9,152	8,452	21,277	5,536	4,449
死者	0	0	0	1	2	0	0	1	0	2
負傷者	2	6	5	7	6	0	2	1	4	3

(注) 損害額の単位は千円です。

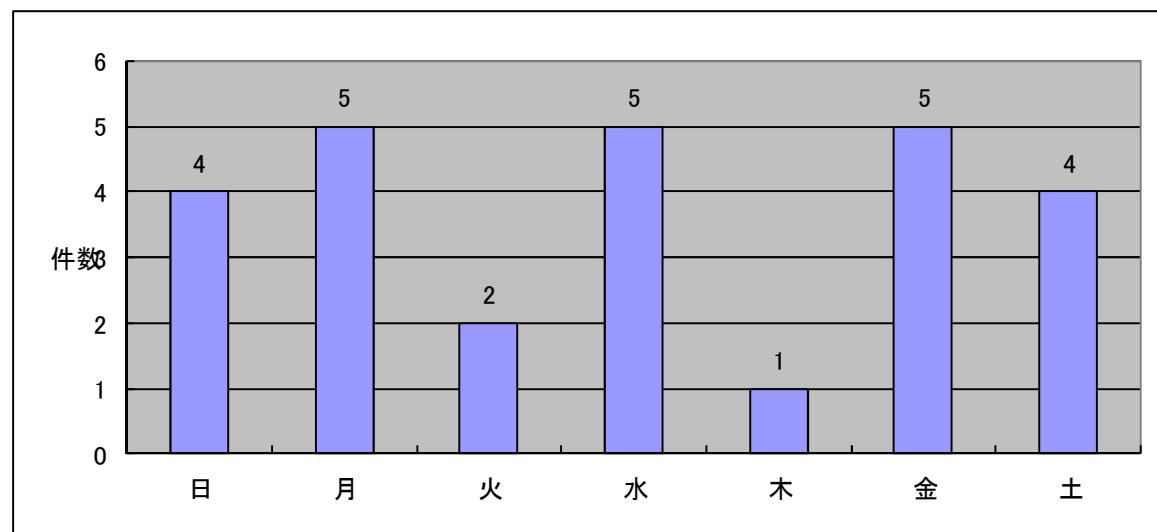
覚知別火災状況

平成26年中



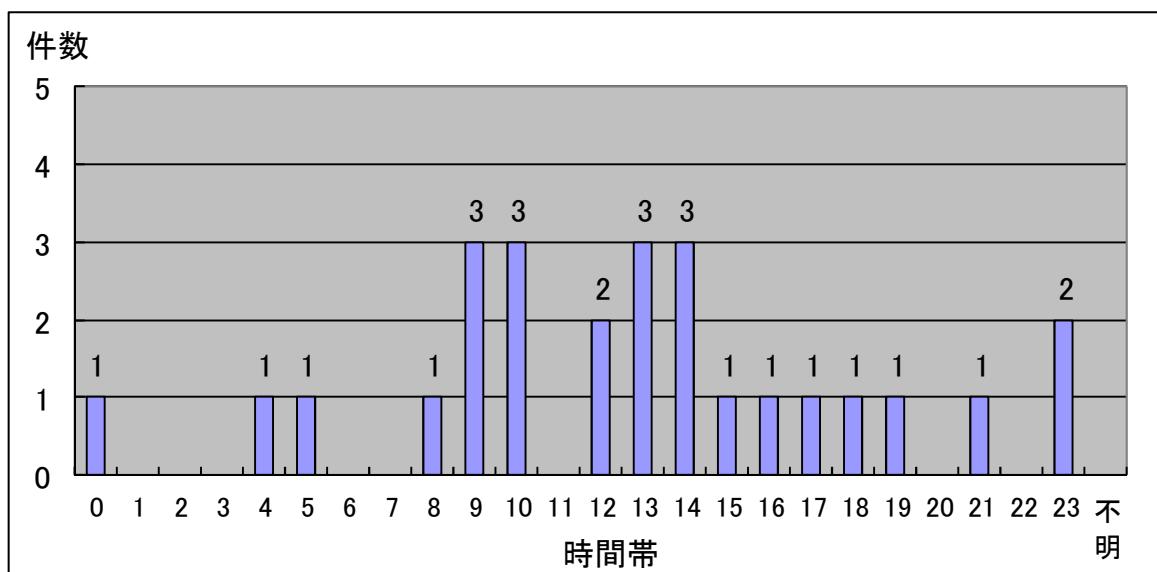
曜日別火災発生状況

平成26年中



時間帯別火災発生状況

平成26年中



救急・救助關係

救急の概要

1 救急業務

蓮田市の平成26年中の救急出場件数は2,872件（前年比91件増）、搬送人員にあっては2,626人（前年比69人増）であり、これは救急自動車が一日平均7.8件出場し、市民23人に1人が搬送されたことになっております。平成25年に比べ出場件数、搬送人員数ともに増加しており、高齢化、疾病構造の変化、在宅患者の増加等、社会環境の変化に伴い潜在的な救急需要は今後も、増加傾向をたどると推測されます。救急業務は市民にとって必要不可欠な行政サービスとなってきています。

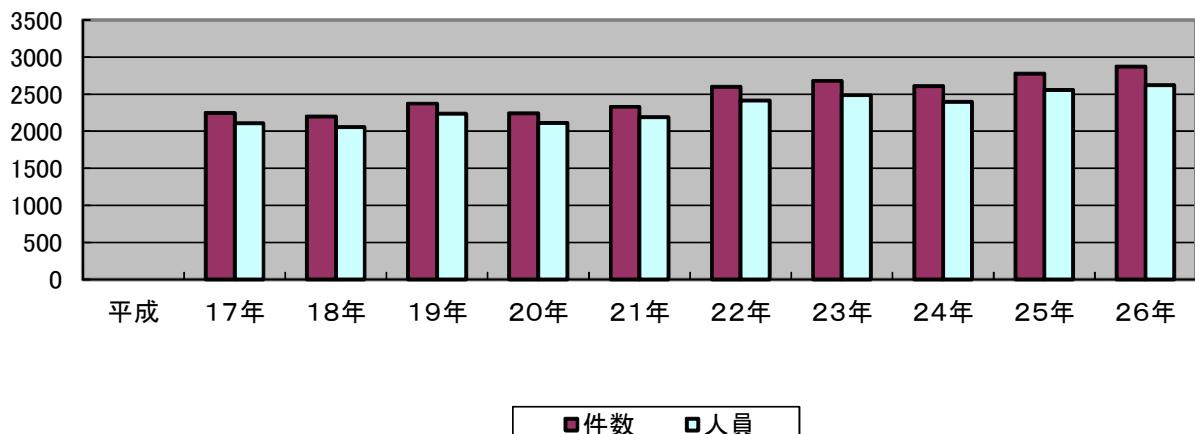
市民の生命・身体を守る上で、救急業務をさらに充実強化していく為に、当市では高規格救急自動車、医療の進歩とともに救急資器材の整備を継続的に行い、救急救命士・救急隊員の資質向上を目的とした職員研修を署内・外で実施しております。

救急救命士制度が開始されてから20年以上が経過した現在、救急救命士は気管挿管・ビデオ喉頭鏡・薬剤投与の処置の拡大などが認められ現場での高度な処置が可能となりました。平成19年10月からは県内でのドクターヘリ就航により、地域拠点病院と共にさらなる救急医療体制の充実化が図られており、当市でもドクターヘリを活用して日々活動しております。

また、地域全体を通して応急手当の普及啓発に積極的に取り組み救命率の向上を目指しています。

2 10年間の救急出場件数・搬送人員状況

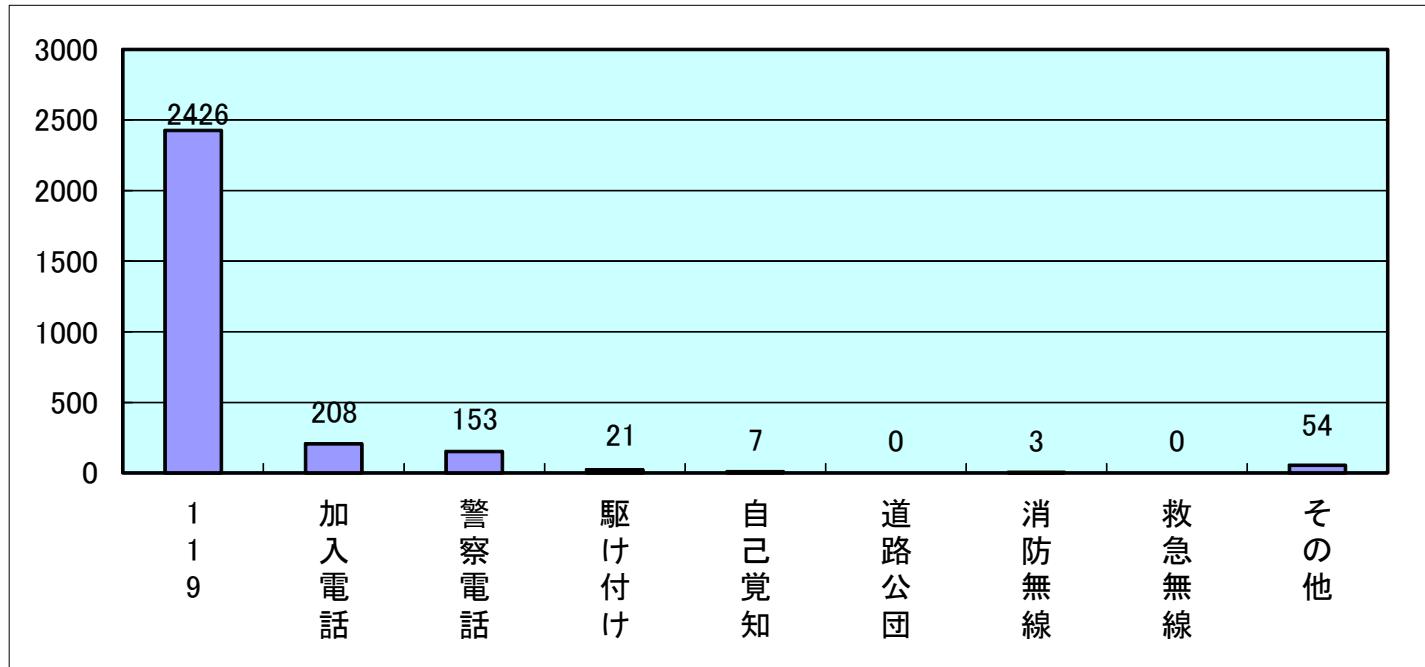
10年間の救急出場件数・搬送人員状況



年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年
件数	2,245	2,200	2,373	2,240	2,332	2,603	2,683	2,610	2,781	2,872
人員	2,110	2,056	2,238	2,116	2,191	2,416	2,486	2,399	2,557	2,626

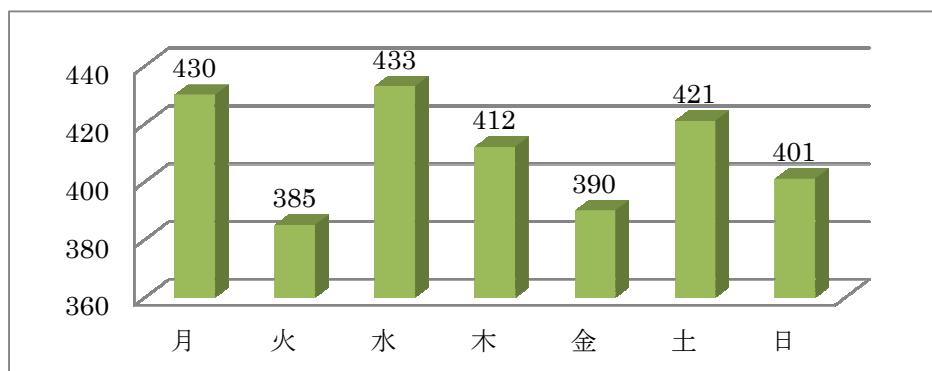
3 救急通報手段状況

平成26年中（単位：件）



4 曜日別出場状況

平成26年中（単位：件）

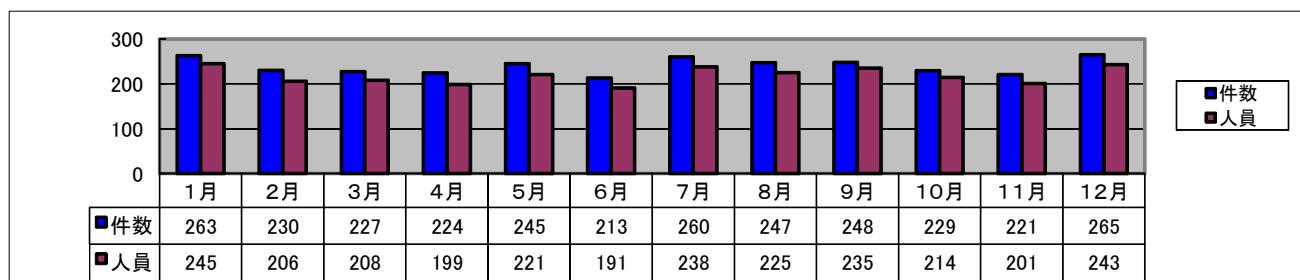


		火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
曜 日 別	月	2	0	0	32	4	0	56	1	3	276	56	430
	火	0	0	1	45	4	1	43	1	1	239	50	385
	水	3	0	0	43	3	1	49	3	1	275	55	433
	木	1	0	0	43	6	0	41	0	5	266	50	412
	金	2	0	0	44	2	1	51	2	3	233	52	390
	土	0	1	1	43	2	1	47	2	9	263	52	421
	日	0	0	0	43	1	3	45	7	3	280	19	401
	計	8	1	2	293	22	7	332	16	25	1832	334	2872

救急出動件数及び搬送件数

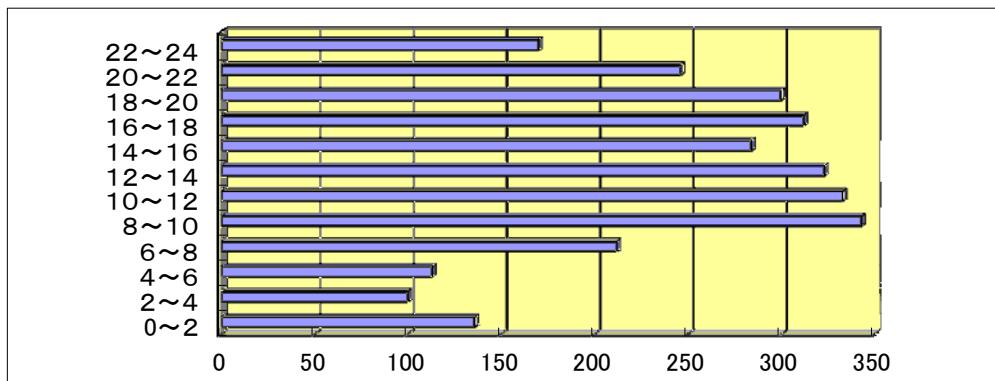
平成26年中（単位：上段 件/下段 人）

		救急事故種別											
		火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	
1月	出動件数	0	0	0	29	3	0	26	0	1	182	22	263
	搬送件数	0	0	0	27	3	0	24	0	0	169	22	245
2月	出動件数	1	1	0	24	0	0	23	1	0	155	25	230
	搬送件数	0	1	0	23	0	0	22	0	0	135	25	206
3月	出動件数	1	0	0	26	2	0	30	0	3	146	19	227
	搬送件数	1	0	0	26	2	0	30	0	2	129	18	208
4月	出動件数	1	0	0	21	1	1	25	3	2	150	20	224
	搬送件数	0	0	0	17	1	1	24	4	2	130	20	199
5月	出動件数	1	0	0	30	4	1	25	2	3	144	35	245
	搬送件数	1	0	0	29	4	1	25	2	2	124	33	221
6月	出動件数	0	0	0	26	3	1	22	3	3	128	27	213
	搬送件数	0	0	0	25	3	1	22	1	2	111	26	191
7月	出動件数	1	0	1	26	2	1	35	1	4	160	29	260
	搬送件数	0	0	0	29	2	1	32	1	3	142	28	238
8月	出動件数	0	0	0	17	1	0	27	2	3	162	35	247
	搬送件数	0	0	0	16	1	0	25	2	2	144	35	225
9月	出動件数	0	0	0	27	1	0	24	2	1	157	36	248
	搬送件数	0	0	0	31	1	0	24	2	1	140	36	235
10月	出動件数	0	0	1	21	3	0	27	0	3	147	27	229
	搬送件数	0	0	0	22	3	0	25	0	3	134	27	214
11月	出動件数	1	0	0	25	2	2	33	1	2	131	24	221
	搬送件数	0	0	0	26	2	2	32	1	1	114	23	201
12月	出動件数	2	0	0	21	0	1	35	1	0	170	35	265
	搬送件数	0	0	0	21	0	1	33	1	0	152	35	243
合計	出動件数	8	1	2	293	22	7	332	16	25	1832	334	2872
	搬送件数	2	1	0	292	22	7	318	14	18	1624	328	2626



6 時間別出場件数

平成26年中（単位：件）



	火災	自然灾害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
合計	8	1	2	293	22	7	332	16	25	1832	334	2872
時間別内訳	0~2	0	0	7	0	0	8	4	1	111	5	136
	2~4	0	0	2	0	0	7	3	2	83	3	100
	4~6	1	0	0	7	2	0	12	0	85	4	113
	6~8	0	0	1	34	1	0	26	0	146	2	212
	8~10	2	1	0	31	5	0	43	0	223	36	343
	10~12	2	0	1	41	6	1	43	0	164	73	333
	12~14	1	0	0	28	1	0	33	2	176	80	323
	14~16	1	0	0	26	3	2	38	1	157	50	284
	16~18	0	0	0	38	3	3	34	0	181	50	312
	18~20	0	0	0	35	1	0	47	0	193	22	300
	20~22	1	0	0	31	0	0	27	3	0	179	5
	22~24	0	0	0	13	0	1	14	3	1	134	4
												170

7 病院別搬送人員

平成26年中（単位：人）

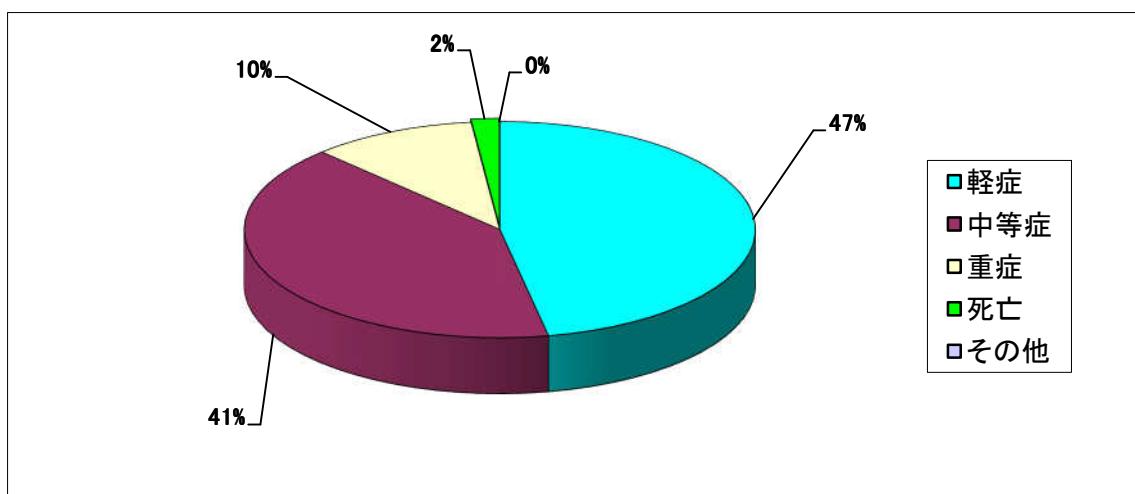
	市内への搬送	市外への搬送	合 計
病院	897	1681	2578
診療所	30	18	48
その他の施設	0	0	0
合 計	927	1699	2626

8 程度別搬送人員割合

蓮田市の救急体制は、現在3台の救急車で運用しています。傷病者が多数発生した場合や、3台の救急車が出動中の場合、近隣の市や町の消防署に救急車の出動を要請することがあります。また、蓮田市の救急車が近隣の市や町に応援出動することもあります。

平成26年中の救急搬送人員の約47%が入院の必要性がない軽症でした。

ケガや急病などで緊急に病院へ搬送しなければいけない方が使用できるように、緊急性がない場合には自家用車やタクシー等で病院へ行くよう、適切な救急車の利用のご理解とご協力をお願いいたします。



※ 軽症・・入院不要 中等症・・入院三週間未満 重症・・入院三週間以上

9 事故種別傷病程度別搬送状況

平成26年中 (単位:人)

事故種別 程度別	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
死亡	0	0	0	0	0	0	2	0	1	44	0	47
重症	0	0	0	15	3	1	25	0	3	155	73	275
中等症	0	0	0	42	6	1	104	1	8	676	233	1071
軽症	2	1	0	235	13	5	187	13	6	749	22	1233
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	2	1	0	292	22	7	318	14	18	1624	328	2626

10 事故種別年齢区分別搬送人員

平成26年中（単位：人）

年齢別 △ 事故種別	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
新生児	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	25	26
乳幼児	0	0	0	5	0	0	31	0	0	75	7	118
少年	0	0	0	24	1	5	9	0	0	39	3	81
成人	1	1	0	199	16	2	61	12	12	501	97	902
高齢者	1	0	0	64	5	0	217	2	6	1008	196	1499
計	2	1	0	292	22	7	318	14	18	1624	328	2626

※年齢区分は次のとおり分類する

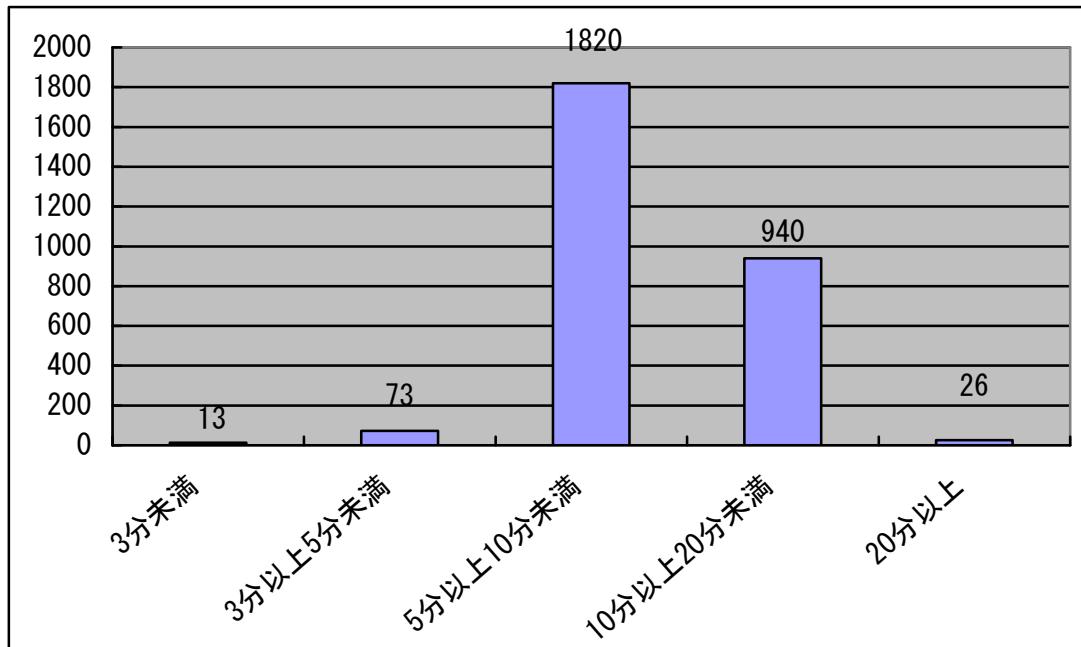
- ・ 新生児 生後28日未満の者
- ・ 乳幼児 生後28日以上満7歳未満の者
- ・ 少年 満7歳以上満18歳未満の者
- ・ 成人 満18歳以上満65歳未満の者
- ・ 高齢者 満65歳以上の者

11 急病にかかる疾病分類搬送人員

平成26年中（単位：人）

傷病程度 △ 疾病分類	循環系		消化系	呼吸系	精神系	感覚系	泌尿系	新生物	その他	不明確	合計
	脳疾患	心疾患									
死亡	0	8	0	2	0	0	0	2	0	32	44
重症	30	31	5	23	3	0	1	19	12	31	155
中等症	74	51	57	75	12	17	21	29	84	256	676
軽症	18	30	34	35	67	22	33	3	104	403	749
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	122	120	96	135	82	39	55	53	200	722	1624

1 2 現場到着所要時間別出場件数



※現場到着所要時間平均時間 … 平成26年平均8.8分 平成25年平均8.4分

1 3 不搬送件数

平成26年中 (単位:人)

	火災	自然 災害	水難	交通	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加害	自損 行為	急病	その 他	計
緊急性なし										7		7
傷病者なし	2			2			1			5	1	11
拒否	1			6			2			9		18
酩酊				1						5		6
死亡	1		1	1					2	4		9
現場処置	1		1	12			12	2	6	165	3	202
誤報・ いたずら	1			1				1		12	0	15
その他				1						2	2	4
計	6	0	2	23	0	0	15	3	8	209	6	272

※緊急性なしとは例として救急隊が病院に連絡したが医師から緊急性が無い為、自家用車等で来るよう指示があったものや、緊急性がないので診察時間になつたら来て下さい等、搬送の必要性がなかつたものをいいます。

1 4 救急支援活動状況

平成26年中（単位：件）

救急車と消防車や救助工作車が同時に出動している光景を見た方もいると思いますが、これは火災ではなく救急支援活動といつて次のような場合に出動します。

①心肺機能停止あるいはその疑いがあると思われる救急要請があった場合 ②建物の2階以上で発生した傷病者または、駅やサービスエリアで発生した傷病者で通報状況から救急車収容まで時間を要すると予測される場合 ③二次災害防止として幹線道路の交通事故や加害事故等により現場が不穏な状況にあると予測される場合等で出場しています。

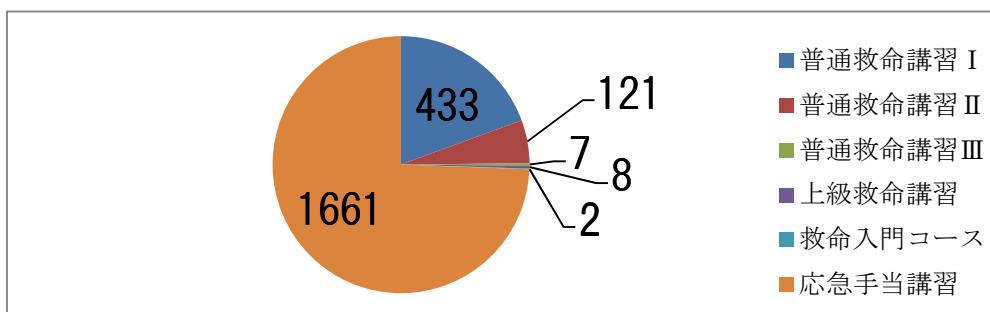
救急支援により、高度化する救急処置の中で、救急隊の安全な活動が可能となり、またマンパワーの増員により現場の滞在時間が短縮されるなど、必要性は今後ますます高まっていくと思われます。

事故種別	急病	交通	一般	運動	加害	自損	労災	その他	合計
出場件数	364	109	31	0	7	7	2	1	521

1 5 応急手当普及啓発活動

平成26年中（単位：人）

普通救命講習会・応急手当講習会受講者数



- * 普通救命講習Ⅱは、業務の内容や活動領域の性格から一定の頻度で心肺停止傷病者に対して応急の対応が期待・想定される方を対象とした講習会です。
- * 普通救命講習Ⅲは、心肺蘇生法（主に小児、乳児、新生児）対象の講習会です。
- * 上級救命講習は普通救命講習の内容に加えて外傷手当、搬送法などを加えた講習会です。

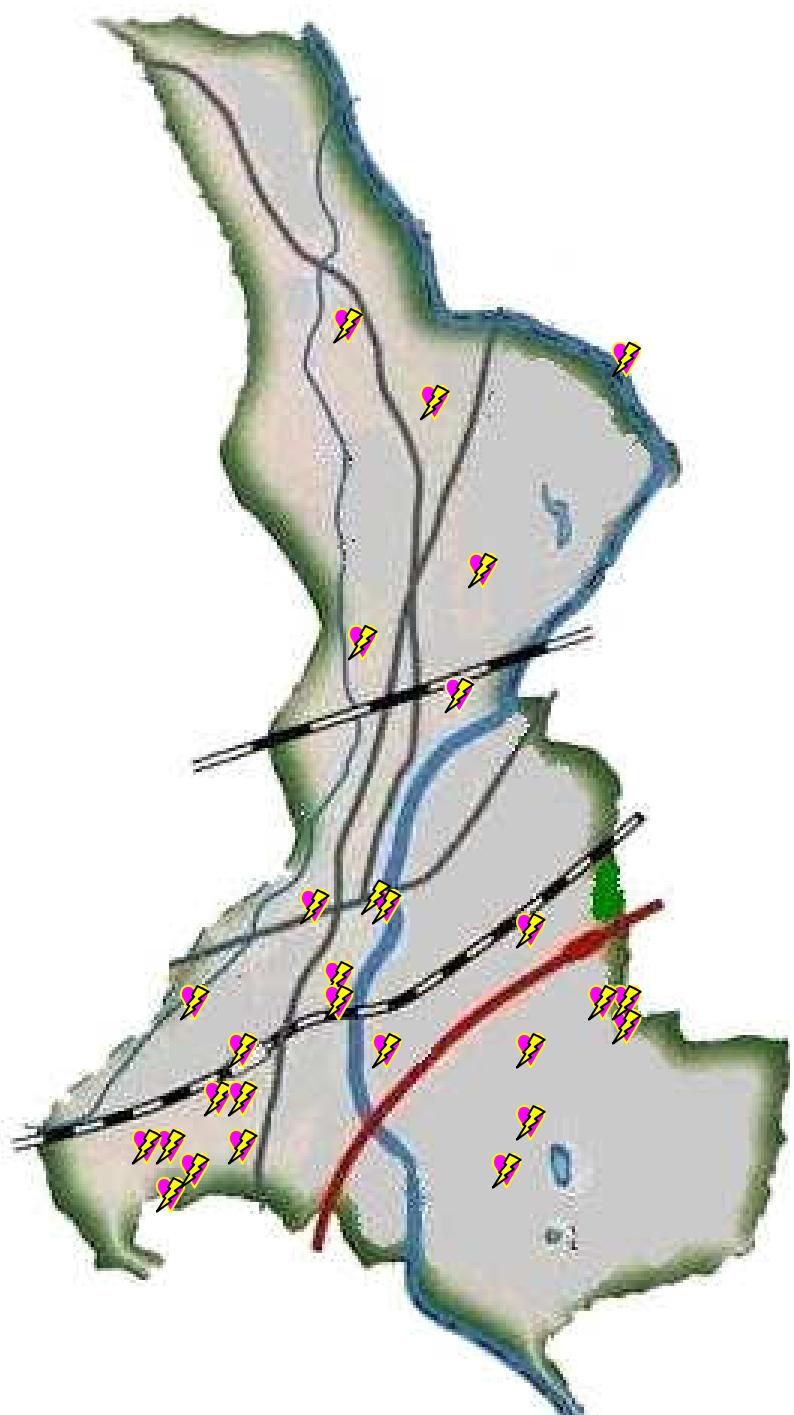
1 6 地区別出動件数

平成26年中（単位：件）

地名	件数	地名	件数	地名	件数	地名	件数
綾瀬	34	川島	15	高虫	37	馬込	240
井沼	63	黒浜	435	椿山	99	緑町	67
閨戸	287	駒崎	26	西新宿	100	南新宿	40
江ヶ崎	54	笹山	10	西城	67	見沼町	54
御前橋	40	桜台	39	根金	188	山ノ内	36
貝塚	25	城	23	蓮田	167	[市外]	15
上	64	末広	50	東	250		
上平野	33	関山	130	本町	184		

1.7 公共施設のAED設置場所

- 1 蓼田市役所
- 2 蓼田市消防本部
- 3 蓼田市消防署南分署
- 4 図書館
- 5 総合市民体育館
- 6 中央公民館
- 7 中央公民館関山分館
- 8 コミュニティセンター
- 9 蓼田市保健センター
- 10 農業者トレーニングセンター
- 11 老人福祉センター
- 12 勤労青少年ホーム
- 13 駅西口連絡所
- 14 環境学習館
- 15 児童センター
- 16 蓼田・白岡環境センター
- 17 中央保育園
- 18 閨戸保育園
- 19 黒浜保育園
- 20 蓼田南保育園
- 21 東保育園
- 22 蓼田ねがやど保育園
- 23 蓼田はなみずき作業所
- 24 かもめ作業所
- 25 黒浜運動公園
- 26 埼玉県立蓼田松韻高等学校
- 27 埼玉県立蓼田特別支援学校



※ この他に、市内各小中学校（13校）・学童保育所（4箇所）に設置されています。

救助活動状況

(1) 事故種別出動件数

平成26年中 (単位:件)

事故種別 月別	建 物 火 災	建 物 以外 の 火 災	交 通 事 故	水 難 事 故	風 水 害 等 自 然 災 害	機 械 に よ る 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	破 裂 事 故	そ の 他 の 事 故	計
1月			3								3
2月	1		1								2
3月			2				1			1	4
4月			1				1			1	3
5月	1		2				2			1	6
6月											0
7月			1	1			3	2			7
8月							1				1
9月			1				1				2
10月			1	1							2
11月	1		1				2				4
12月	2									1	3
合計	5	0	13	2	0	0	11	2	0	4	37

(2) 事故発生場所別活動件数及び救助人員

平成26年中 (単位:上段 件/下段 人)

事故種別 発生場所			建 物 火 災	建 物 以外 の 火 災	交 通 事 故	水 難 事 故	風 水 害 等 自 然 災 害	機 械 に よ る 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	破 裂 事 故	そ の 他 の 事 故	計	
屋内	住居	活動件数	4						7	1			12	
		救助人員	2						5	2			9	
	その他 の屋内	活動件数	1						3				4	
		救助人員							2				2	
屋外	道路	活動件数			5								5	
		救助人員			5								5	
	河川等	活動件数				2							2	
		救助人員				2							2	
	その他 の屋外	活動件数			4					1			5	
		救助人員			3					1			4	
その他		活動件数											0	
		救助人員											0	
合計		活動件数	5	0	9	2	0	0	10	2	0	0	28	
		救助人員	2	0	8	2	0	0	7	3	0	0	22	

(3) 事故種別出動人員

平成26年中 (単位:人)

区分		事故種別	建物火災	建物以外の火災	交通事故	水難事故	風水害等自然災害	機械による事故	建物等による事故	ガス及び酸欠事故	破裂事故	その他の事故	計
出動人員	専任救助隊員	15		38	6				33	6		12	110
	消防隊員	54		44	14				9	6		3	130
	救急隊員	9		33	6				27	6		12	93
	合計	78	0	115	26	0	0	69	18	0	27	27	333
救助活動人員	専任救助隊員	12		26	6				27	6			77
	消防隊員	29		31	14				6	6			86
	救急隊員	3		21	6				18	6			54
	合計	44	0	78	26	0	0	51	18	0	0	0	217

(4) 救助出動件数の推移

(単位:件)

年別		平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年
事故種別						
火災	11	4	1	4	5	
交通事故	14	14	15	21	13	
水難事故	4	5	2	1	2	
その他の事故	1	5	1	6	4	
上記以外の事故	1	10	13	10	13	
総出動件数	31	38	32	42	37	

消防団関係



消防団

現在、蓮田市消防団は市内在住及び在勤の147名、1本部6ヶ分団から構成されており、平成26年4月より女性消防団員も新たに4名採用いたしました。

消防団員は消防職員と異なり、消防以外に仕事を有しているため、火災発生の際には自分の仕事を中断して現場に出動します。夜間の就寝中でもサイレンの音で飛び起き、火災現場に駆け付け、消防職員と協力して消火作業に従事します。

消防団員は、皆さん的生命・財産を火災から保護することだけではなく台風や集中豪雨などの風水害や地震等にも出動し、これらの災害による被害の軽減に努めています。

また、災害のないときも、火災予防活動や機械器具の点検・消火栓等の調査などを実施し災害に備え万全を期するとともに、自主防災組織等の訓練指導を行っています。

消防団の主な行事（平成26年度）

- 平成26年 4月 辞令交付式・団幹部歓送迎会
第1回分団長会議・女性消防団員会議
- 5月 運営費支給
- 6月 第1回本部役員会議
第2回分団長会議
消防団新入団員基礎教育
消防団幹部県外研修（長野県）
- 7月 消防団詰所消毒
- 8月 女性消防団員会議
- 9月 蓼田市総合防災訓練（市民体育館）
住宅用火災警報器指導員講習（県消防学校）
消防団員講習会・消防団新入団員基礎教育
- 10月 第2回本部役員会議
第3回分団長会議・女性消防団員会議
- 11月 合同訓練
消防特別点検（黒浜西小学校）
- 12月 第4回分団長会議
消防団員基礎教育（県消防学校）
歳末特別警戒
- 平成27年 1月 消防出初式
現場指揮幹部科（県消防学校）
- 2月 消防団員基礎教育・分団指揮幹部科
- 3月 消防団家族慰安会・消防団員健康診断
第5回分団長会議
火災予防広報活動・住宅防火診断（女性消防団員）

消防団構成

平成27年4月1日

条例定数	157人
------	------

分団名	実員数
団本部	8(4)
第1分団	21
第2分団	24
第3分団	26
第4分団	22
第5分団	24
第6分団	22
合計	147

※()内は女性消防団員

分団詰所所在地

平成27年4月1日

分団名	所在地	建築延べ面積(m ²)	敷地面積(m ²)
第1分団	東5丁目7-2	102.06	393.38
第2分団	上2丁目13-2	102.06	340.01
第3分団	閨戸3978-8	102.06	395.67
第4分団	井沼1063-8	102.06	375.76
第5分団	黒浜3933-6	102.06	396.13
第6分団	黒浜1132-2	102.06	248.93

在職年数別消防団員数

平成27年4月1日

在職年数 分団別	計	5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上 25年未満	25年以上 30年未満	30年以上
本部	8(4)	4(4)	0	0	0	0	3	1
第1分団	21	4	3	4	3	5	2	0
第2分団	24	2	7	2	6	4	3	0
第3分団	26	6	5	7	7	1	0	0
第4分団	22	3	5	5	3	5	1	0
第5分団	24	2	4	5	3	4	4	2
第6分団	22	2	5	3	4	6	2	0
合計	147	23	29	26	26	25	15	3

※()内は女性消防団員

消防自動車配置状況 (消防団)

平成27年4月1日現在

分団名	車名・型式	ポンプ 会社名	ポンプ級別 型 式	購入年月日
第1分団	いすゞ PB-NKR81N	(株)モリタ	A-2級 CD-I型	H17.3
第2分団	日野 TKG-XZU640M	(株)モリタ	A-2級 CD-I型	H25.12
第3分団	日野 BDG-XZU334M	(株)モリタ	A-2級 CD-I型	H20.3
第4分団	日野 TKG-XZU640M	(株)モリタ	A-2級 CD-I型	H27.2
第5分団	いすゞ KK-NKR71GN	(株)モリタ	A-2級 CD-I型	H14.2
第6分団	いすゞ PB-NKR81N	(株)モリタ	A-2級 CD-I型	H19.3



蓮田市防火安全協会

平成26年度 児童防火ポスターコンクール



会長賞



消防長賞



消防団長賞

黒浜南小学校 4年 蓮田北小学校 5年 中央小学校 6年

佐藤さん作品

端口さん作品

早川さん作品

蓮田市消防本部

平成27年刊行

編集・発行 蓼田市消防本部 庶務係

〒349-0133

蓮田市閨戸 178-1

T E L 048-768-0119 (代表)

F A X 048-768-9937

住宅用火災警報器を取り付けましょう